

4 各事業の概要

平成15年度 治水関係事業の概要

1. 治水関係事業予算総括表

(単位：百万円)

事 項	直轄・補助別	事 業 費
治水関係事業		
河川事業	直 轄 補 助	75,077 44,393
建設機械設備	直 轄	273
多目的ダム建設事業	直 轄	(20,573) 19,411
河川総合開発事業	直 轄	(13,378) 9,201
	補 助	(8,885) 6,954
砂防事業	直 轄 補 助	4,866 13,386
急傾斜地崩壊対策事業	補 助	2,877
小 計	総 額	(183,708) 176,438
	直 轄	(114,167) 108,828
	補 助	(69,541) 67,610
都市環境整備事業		
都市水環境整備事業	直 轄 補 助	2,461 135
合 計	総 額	(186,304) 179,034
	直 轄	(116,628) 111,289
	補 助	(69,676) 67,745

- 注) 1. ダム事業にあつては、上段()書は利水者負担額を含む額。
 2. 上記には道路関係社会資本の事業費 1,564百万円を含む。
 3. 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

2.平成15年度治水関係事業の概要

1 北海道の恵まれた自然との共生による環境保全

(1) 貴重な自然環境である水辺空間の保全・再生の本格的取組み

ラムサール条約登録湿地である釧路湿原について、蛇行復元や土砂流入対策等、湿原再生に関する調査・検討を促進する他、自然再生推進法を踏まえNPOや地域住民、関係機関との連携を積極的に推進する。

また、失われつつある北海道らしい自然環境の保全・再生を図るため、標津川蛇行復元や鶴川河口干潟の再生、美々川湿地保全等に取り組む。



釧路湿原と釧路川

(2) 水質浄化対策の推進

水質が悪化している網走湖や石狩川水系茨戸川水域において、清流ルネッサンス事業として地域と連携した水質改善対策に積極的に取り組む。

(3) ダム周辺環境整備の推進

ダム周辺の自然環境を改善するため、ダム下流無水区間の改善や貯水池水質の保全を図る他、魚類の遡上環境改善のための魚道設置等に取り組む。

2 国内外から注目を集める魅力ある都市づくりや観光交流基盤の整備

(1) 都市の個性ある発展に資する防災対策・水環境整備の推進

魅力ある都市空間の再生を目指す札幌市都市再生プロジェクトを支援するため、創成川において親水空間の整備を推進する他、良好な水辺環境を再生するため、札幌市北部の河川に浄化用水を導水する「水と緑のネットワーク事業」を推進し、平成15年度はサクシュ琴似川の清流復活を完了させる。また、急流河川である豊平川において、高速流による堤防破壊を防止するための堤防強化対策を行う等、札幌市の防災対策を推進する。

また、忠別川において、旭川市と連携し北彩都あさひかわ(旭川駅周辺開発整備計画)事業を支援する河川整備に取り組む。



創成川親水空間整備(イメージ)

(2) 観光振興に資する事業の推進

平成12年3月に噴火した有珠山の泥流対策において、エコミュージアム構想との連携・支援を行い、火山を中心とした観光振興や防災・環境教育に資する施設整備を実施する。

3 地域の特徴を活かした、うるおいのある地域社会の形成

(1) 安心して暮らせる地域社会の形成に資する基盤整備の推進

洪水災害の頻発する千歳川流域において、地元を含めた関係者による検討・協議を進め、放水路に代わる治水対策全体計画を早期に策定するとともに、引き続き掘削・浚渫、堤防強化、河川防災ステーション整備等を重点的に実施する。

また、改修効果が極めて高い区間において、幾春別川新水路（石狩川）、千代田新水路（十勝川）、大和田遊水地（留萌川）等に重点投資を行い、早期の事業効果発現を目指すとともに、石狩川、十勝川、天塩川等での流下能力不足解消のための河道浚渫や築堤を実施する等、地域の骨格を形成する大規模な治水事業を推進する。特に、旭川市における抜本的な治水事業である牛朱別川分水路（永山新川）事業を平成15年度に完成させる。

ダム事業では、忠別ダム（石狩川）、留萌ダム（留萌川）、庶路ダム（庶路川）等治水対策の要となる根幹的対策を重点的に推進する。また、既存の貯水容量を活かしながら治水利水環境機能の増進を図る等、沙流川総合開発事業や幾春別川総合開発事業において既存ストックを活用した柔軟な治水利水環境対策を推進する。

上流域の土地の荒廃が著しく、流出する土砂が下流域に被害を及ぼす恐れのある豊平川、札内川において砂防事業を実施する。



幾春別川新水路事業



庶路ダム建設事業

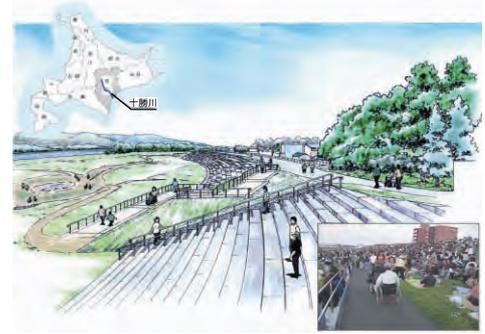
(2) 頻繁する火山災害に備える対策の推進

近年特に火山活動が活発化してきている十勝岳、樽前山等においてダム群、遊砂地による整備を行い、ソフト対策をあわせた対策を進める。

(3) 水辺空間のバリアフリー化や災害弱者対策の推進

身障者や高齢者等が安心して水辺に親しめるように、十勝川、豊平川、常呂川等において、地域住民と協議しながら水辺空間のバリアフリー化に取り組む。

また、児童福祉施設、老人福祉施設等、土砂災害の犠牲となりやすい災害弱者関連施設を含む区域を保全する砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業を推進する。



十勝川バリアフリー

(4) ITを活用した迅速・的確な情報提供と危機管理の推進

洪水時の的確かつ効率的な河川・ダム管理を行うため、光ファイバーを利用したネットワーク網の整備を推進する。

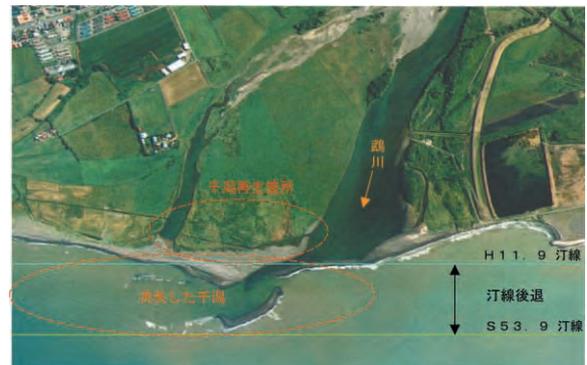
また、防災、避難活動において迅速な対応が求められる火山防災対策においても、光ファイバーによる情報ネットワーク整備を推進する。

3. 主な事項（事業）

1 北海道の恵まれた自然との共生による環境保全

(1) 貴重な自然環境である水辺空間の保全・再生の本格的取組み

- [継 続] 石狩川下流自然再生事業
- [継 続] 鶴川自然再生事業
- [継 続] 釧路川自然再生事業
- [継 続] 標津川自然再生事業
- [継 続] 美々川統合河川整備事業（補助）
- [継 続] 水環境改善事業～魚のみち整備～（美利河ダム）



鶴川河口航空写真

(2) 水質浄化対策の推進

- [継 続] 石狩川下流水環境整備事業
- [継 続] 網走川水環境整備事業
- [継 続] 貯水池水質保全事業（漁川ダム）

(3) 既設ダム周辺環境改善の推進

- [供 用] ダム湖活用環境整備事業（金山ダム）
- [供 用] 水環境改善事業～小放流設備の設置～（大雪ダム）

2 国内外から注目を集める魅力ある都市づくりや観光交流基盤の整備

(1) 都市の個性ある発展に資する防災対策・水環境整備の促進

- [継 続] 札幌北部地区河川環境整備事業（補助）
サクシュ琴似川の完成及び創成川の調査着手
- [部分供用] 豊平川堤防強化事業
- [供 用] 牛朱別川分水路（永山新川）事業



サクシュ琴似川の清流復活

(2) 観光振興に資する事業の推進

- [継 続] 沙流川（平取地区）河川利用推進事業
- [継 続] 十勝川（千代田地区）河川利用推進事業
- [継 続] 天塩川上流（中川地区）河川利用推進事業
- [部分供用] 石狩川上流（石狩川上流地区）河川利用推進事業
- [部分供用] 湧別川（遠軽地区）河川利用推進事業
- [供 用] 石狩川上流（忠別川地区）河川利用推進事業
- [継 続] 有珠山火山砂防激甚災害対策特別緊急事業（補助）
西山川遊砂地の概成

3 地域の特徴を活かした、うるおいのある地域社会の形成

(1) 安心して暮らせる地域社会の形成に資する河川改修事業の推進（直轄）

- [継 続] 幾春別川新水路事業
- [継 続] 千代田新水路事業
- [継 続] 大和田遊水地事業
- [供 用] 牛朱別川分水路（永山新川）事業【再掲】

(2) 安心して暮らせる地域社会の形成に資する河川事業の推進（補助）

- [新 規] 雨竜川広域基幹河川改修事業
- [新 規] 興部川広域一般河川改修事業
- [継 続] 余市川広域基幹河川改修事業
- [継 続] 売買川広域基幹河川改修事業（放水路の完成）

(3) 安心して暮らせる地域社会の形成に資するダム事業の推進

- [継 続] 沙流川総合開発事業（直轄）
- [継 続] 忠別ダム建設事業（直轄）
- [継 続] 留萌ダム建設事業（直轄）
- [継 続] 幾春別川総合開発事業（直轄）
- [継 続] サンプルダム建設事業（直轄）
- [継 続] 夕張シューパロダム建設事業（直轄）
- [継 続] 徳富ダム建設事業（補助）
- [継 続] 当別ダム建設事業（補助）
- [継 続] 庶路ダム建設事業（補助）
- [継 続] 厚幌ダム建設事業（補助）
- [継 続] 西岡生活貯水池建設事業（補助）



牛朱別川分水路（永山新川）



幾春別川総合開発事業

(4) 安心して暮らせる地域社会の形成に資する砂防事業の推進

- [継 続] 豊平川直轄砂防事業
- [継 続] 十勝川直轄砂防事業

(5) 頻繁する火山災害に備える対策の推進

- [継 続] 十勝岳直轄火山砂防事業
- [継 続] 樽前山直轄火山砂防事業
- [継 続] 有珠山激特事業（補助）【再掲】



樽前山錦多峰川2号遊砂地

(6) 水辺空間のバリアフリー化

- [供 用] 石狩川下流（豊平川地区）河川利用推進事業
- [供 用] 石狩川下流（石狩地区）河川利用推進事業
- [供 用] 石狩川下流（漁川地区）河川利用推進事業
- [供 用] 十勝川（十勝大橋左岸地区）河川利用推進事業
- [供 用] 常呂川（北見地区）河川利用推進事業



バリアフリーの河川整備（豊平川）

(7) 災害弱者対策の推進

- [継 続] 南茅部臼尻3急傾斜地崩壊対策事業（補助）
- [概 成] 常願寺通常砂防事業（補助）

(8) ITを活用した迅速・的確な情報提供と危機管理体制の整備

- [継 続] 石狩川下流河川改修事業
- [継 続] 石狩川上流河川改修事業
- [継 続] 十勝川河川改修事業
- [継 続] 常呂川河川改修事業
- [継 続] 渚滑川河川改修事業
- [継 続] 留萌川河川改修事業
- [継 続] 火山噴火警戒避難対策事業（補助） 気象庁の常時観測5火山において火山防災情報の共有化推進



5火山の防災情報共有化

4. 主な新規事業着手箇所及び完成箇所

1 直轄事業

河川事業

(1) 主な新規事業着手箇所

事業名	箇所名	市町村名	備考
水辺の楽校	漁川	恵庭市	
河川利用推進事業	漁川	恵庭市	

(2) 主な完成予定箇所

事業名	箇所名	市町村名	備考
牛朱別川分水路（永山新川）事業	石狩川上流	旭川市	

ダム事業

(1) 主な新規事業着手箇所

事業名	箇所名	市町村名	備考
直轄ダム施設改良事業	豊平峡ダム	札幌市	

(2) 主な完成予定箇所

事業名	箇所名	市町村名	備考
ダム周辺環境整備事業	金山ダム、大雪ダム(石狩川)	旭川市	

2 補助事業

河川事業

(1) 主な新規事業着手箇所

事業名	箇所名	市町村名	備考
広域基幹河川改修	雨竜川	幌加内町	
広域一般河川改修	興部川	興部町	

(2) 主な完成予定箇所

事業名	箇所名	市町村名	備考
準用河川改修	赤坊川	札幌市	

砂防事業

(1) 主な新規事業着手箇所

事業名	箇所名	市町村名	備考
通常砂防	マカナイ川	仁木町	ほか2流域

(2) 主な完成予定箇所

事業名	箇所名	市町村名	備考
通常砂防	常願寺川	大成町	ほか3流域
火山砂防	マクシベツ川	斜里町	ほか1流域

急傾斜地崩壊対策事業

(1) 主な新規事業着手箇所

事業名	箇所名	市町村名	備考
急傾斜地崩壊対策	室蘭天神町	室蘭市	ほか2箇所

(2) 主な完成予定箇所

事業名	箇所名	市町村名	備考
急傾斜地崩壊対策	小樽高島2丁目1	小樽市	ほか2箇所

1 概要

ラムサール条約登録湿地であり、国立公園でもある釧路湿原は、高い貴重性を持つ自然環境及び治水・利水・気象緩和効果があるが、近年急速に乾燥化が進み、環境の劣化及び湿原の機能低下がみられその保全・回復が緊急の課題となっている。

こうした状況に鑑み、平成13年3月、「釧路湿原の河川環境保全に関する検討委員会（学識経験者、NPO、北海道開発局、地元自治体、環境省等）が湿原保全のための提言をとりまとめ、「蛇行する河川への復元」をはじめとする12の具体的な施策を示した。

2 計画内容

箇所名：釧路川茅沼地区（標茶町）

H15年度事業内容：蛇行河川復元のための掘削に向けた、環境に配慮した工法検討、工事用道路整備

事業効果：蛇行河川復元により湿原本来の河川景観の回復、生物の生息環境や土砂輸送機能の回復を図り、湿原の持つ遊水機能、保水機能、気象緩和機能を高める。

事業予定期間：平成13年度～



現在（蛇行復元前）



将来（蛇行復元後）

緊急な課題である千歳川流域の治水対策については、平成14年3月、千歳川放水路に代わる新たな治水対策の方向が提言されたことを踏まえ、地元を含めた関係者による検討・協議を進める等、具体的な整備計画を策定するとともに、引き続き掘削・浚渫、堤防強化、防災ステーション整備事業等を推進するなど新たな治水対策を早急に実現するため、重点的な取り組みを行う。



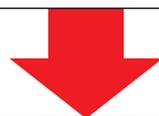
〔昭和56年8月洪水〕



広大な低平地が広がる千歳川流域では、外水氾濫に加え、千歳川の高い水位により堤内側に降った雨水が千歳川に流れ込むことができず、頻繁に内水氾濫が発生し被害を受けている。

千歳川流域治水対策の主な経過

- 平成11年12月 千歳川放水路計画中止に伴い、新たな治水対策について「千歳川流域治水対策全体計画検討委員会（国・道）が検討開始。
- 平成14年3月 委員会が新たな治水対策として堤防強化（遊水地併用）案を提言。国・北海道が提言の尊重を表明。
- 平成14年7月 新対策を前提に「千歳川流域治水対策協議会（国・道・地元）設置。



平成15年度の事業概要

内水対策、流域対策の具体化

- 平成14年7月に、国、道、地元自治体等、流域内の関係機関からなる「千歳川流域治水対策協議会」を設置
- この協議会において、内水対策、流域対策を精力的に協議、検討し、平成15年度から対策に着手



河川整備計画の策定

- 協議会等での協議・検討結果をはじめ、地域の様々な意見を踏まえて河川整備計画を策定



既着手治水対策の促進

- 掘削、浚渫に伴う構造物の改築
- 低水路の掘削、浚渫
- 堤防強化
- 河川防災ステーションの整備
- 光ファイバーネットワークの形成 等



掘削・浚渫の促進

平成15年度(継続)

うしゅべつがわぶんすいろ(ながやましんかわ)
牛朱別川分水路(永山新川)事業

(直轄)

1 事業概要

旭川市街地の抜本的治水対策

分水路を建設することにより、牛朱別川の洪水を市街地上流から直接石狩川へバイパスし、旭川市街地の洪水に対する安全性を大幅に向上させる。

2 事業内容

分水路延長：5.7 km

河川幅：170 m

全体事業費：580億円

工期：昭和59年度～平成15年度(平成10年度暫定断面完成)



1 概要

忠別ダムは、人口36万人の中核都市である旭川市街地を洪水から守り、河川環境の保全・既得用水の補給、水道用水・かんがい用水の補給など、ひっ迫している利水需要からも早急な完成が望まれている。

北海道第2の都市である旭川市は道北地方の物流の拠点であり、その大動脈である幹線国道や鉄道輸送等が集中し、交通確保が非常に重要となっている。この地域が洪水被害に遭った場合、都市基盤及び生活基盤に壊滅的な打撃を受け、道北地方の経済のみならず道内経済に与える影響は必至であり、早急に洪水防御対策を講じる必要がある。

2 計画内容

- 目的：（1）洪水調節 （2）流水の正常な機能の維持
（3）かんがい用水の補給 （4）水道用水の供給 （5）発電
- 位置：（右岸）北海道上川群東川町東20号
（左岸）北海道上川郡東神楽町字志比内
- 規模：堤高 86.0m
- 型式：重力式コンクリートダム及びフィルダムの複合ダム
- 全体事業費：1,630億円
- 工期：昭和52年から平成18年度までの予定



平成15年度(継続)

うすざんかざんさぼうげきじんさいがいたいさくとくべつきんきゅう
有珠山火山砂防激甚災害対策特別緊急事業

(補助)

1 概要

平成12年3月31日の有珠山噴火に伴い、西山川流域(洞爺湖温泉街)においては、火山灰の堆積、熱泥流による橋梁の流出及び町営団地、町営浴場、洞爺湖温泉小学校など多くの施設が被害を受けた。

平成13年度から西山川、板谷川等で砂防施設の整備を進めているが、平成15年度は、西山川の導流堤、遊砂地等の整備を促進し概成させる。

施設配置については、有珠山エコミュージアム構想を支援するため災害遺構(流出した木の実橋、町営桜ヶ丘団地、町営浴場やすらぎの家)の保存に配慮した計画とした。

2 計画内容

市町村名： 虻田町

実施内容： 導流堤、遊砂地、砂防堰堤、除石工など

全体事業費： 約205億円

事業予定期間： 平成13年度から平成17年度



噴火直後の状況(H12.4)



西山川砂防施設配置



洞爺湖温泉街の泥流対策施設とエコミュージアム構想

平成15年度(継続)

うりかい がわこういき き かん か せん

売買川広域基幹河川改修事業 (放水路完成)

(補助)

1 概要

度重なる洪水被害を受けた売買川下流域の抜本的な治水対策である放水路を平成15年度に完成させる。

放水路の完成により下流帯広市街地の洪水被害軽減を図ることができる。

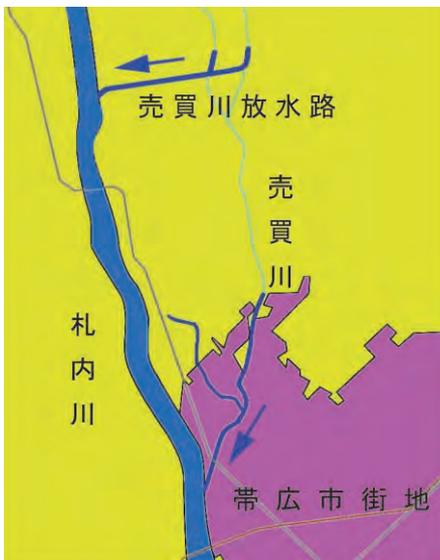
2 計画内容

市町村名：帯広市

延 長：約3,900m

全体事業費：約90億円

事業予定期間：平成9年度から平成15年度



売買川流域概要図



放水路下流帯広市街地



放水路現況



放水路完成予想図

平成15年度 海岸事業の概要

1. 海岸事業予算総括表

(単位：百万円)

事 項	直轄・補助別	事 業 費
建設海岸	総 額	4,859
	直 轄	619
	補 助	4,240
農地海岸	補 助	2,802
漁港海岸	補 助	2,998
港湾海岸	総 額	1,336
	直 轄	5
	補 助	1,330
合 計	総 額	11,995
	直 轄	624
	補 助	11,371

注) 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

2.平成15年度海岸事業の概要

1 北海道の恵まれた自然との共生による環境保全

(1) 自然共生型事業の推進（建設海岸）

海岸の多様な生態系を保全するため、砂浜の保全を推進する。

2 地域の特長を活かした、うるおいのある地域社会の形成

(1) 国土保全事業の総合的・計画的な推進 （建設海岸）

侵食が著しく、汀線の後退が見られる胆振海岸において、背後に位置する国道36号やJR室蘭本線、市街地を保全する抜本的な対策として人工リーフによる整備を進める。

(2) 津波・高潮対策の推進（建設海岸）

激甚な津波災害を被った北海道南西沖地震の被災地における高潮対策を原歌海岸、東風泊海岸において推進する。

(3) 災害弱者対策の推進（建設海岸）

病院・保育所等の災害弱者施設を浸水・侵食被害から守るため、本町海岸等において人工リーフ等の整備を推進する。

(4) 自然環境を保全・創造し、海とのふれあいを促進する海岸づくり（港湾海岸）

大規模な津波による被害と磯焼け現象により失われつつある藻類などの海洋資源の回復を図るため、奥尻港海岸において防護機能に加え、環境調和型の離岸堤（潜堤）の整備を進める。また、津波による被害から背後民家の安全を確保するため防潮堤の整備を引き続き行う。

（高潮対策：エコ・コースト事業）

高潮による被害を防ぎ、背後地域の安全と市民の安らぎや憩いの場として海とのアクセスの向上を図るため苫小牧港海岸において護岸の改良を進め、面的防護機能の向上を図る。

（高潮対策：ふるさと海岸整備事業）



胆振海岸（白老工区）



奥尻港海岸（奥尻地区）



苫小牧港海岸（汐見地区）

(5) 背後住民の生命財産を守り、国土保全に資する安全な海岸の創造（港湾海岸）

老朽化が著しく、既存天端高が満足していない既設の護岸について、背後の安全と快適な海岸環境を確保するため、稚内港海岸において護岸の改良を進める。（侵食対策）

その他 8 港海岸で整備中

以上の他、農地海岸事業 21 箇所（内、新規事業 1 箇所）漁港海岸事業 16 箇所（内、新規事業 2 箇所）を補助事業にて実施



稚内港海岸（ノシャップ地区）

3. 主な事項（事業）

1 北海道の恵まれた自然との共生による環境保全（建設海岸）

(1) 自然共生型事業の推進

[継 続] 野付崎海岸（補助）



野付崎海岸

2 地域の特徴を活かした、安全な地域社会を形成する

(1) 国土保全事業として人工リーフの整備を推進
建設海岸

[継 続] 胆振海岸 白老工区（直轄）

[部分供用] 胆振海岸 苫小牧工区元町地先の完成
（直轄）

(2) 津波・高潮対策の推進（建設海岸）

[継 続] 原歌海岸（補助）・東風泊海岸（補助）

(3) 災害弱者対策の推進（建設海岸）

[継 続] 本町海岸（補助）



奥尻港海岸 藻類繁殖状況

(4) 自然環境を保全・創造し、海とのふれあいを促進する（港湾海岸）

- [継 続] 奥尻港海岸高潮対策事業（補助）
- [継 続] 苫小牧港海岸高潮対策事業（補助）
- [部分供用] H 1 1 に500m区間開放（全体1,000m）



苫小牧海岸汐見地区 護岸整備状況

(5) 背後住民の生命財産を守り、国土保全に資する安全な海岸の創造（港湾海岸）

- [継 続] 稚内港海岸侵食対策事業（補助）



稚内港海岸 護岸整備状況

4. 主な新規事業着手箇所及び完成箇所

1 補助事業

(1) 主な新規事業着手箇所

事項	事業名	箇所名及び箇所数	市町村名	備考
建設海岸	海岸保全施設整備	銭函海岸侵食対策	小樽市	

(2) 主な完成予定箇所

事項	事業名	箇所名	規模及び市町村名	備考
港湾海岸	侵食対策事業	白老港海岸萩野地区	離岸堤 4 0 4 m	海岸完了
		増毛港海岸中歌地区	離岸堤（潜堤）3 0 0 m	地区完了
建設海岸	海岸保全施設整備	尾白内海岸侵食対策	森町	
		川汲海岸侵食対策	南茅部町	
	海岸環境整備	沖見海岸環境整備	留萌市	
		鳧舞海岸環境整備	三石町	

1 概要

胆振海岸は北海道央圏の南部に位置し、太平洋に直面したほぼ直線の単調な砂浜海岸である。夏期から秋期にかけての台風や季節風による強大な波浪により侵食が著しく、年間4～6mもの汀線の後退が見られていた。

本海岸の背後には、本州・道南地方と道央地方を結ぶ幹線である国道36号、JR室蘭本線などの重要交通網が隣接しているが、この幹線が寸断されると、全国の物流や経済、観光に影響を与える。また、海岸に隣接する住宅地では、浸水・越波等の被害が生じている。そこで、これらに対する抜本的な対策として、人工リーフによる防護を推進している。

2 計画内容

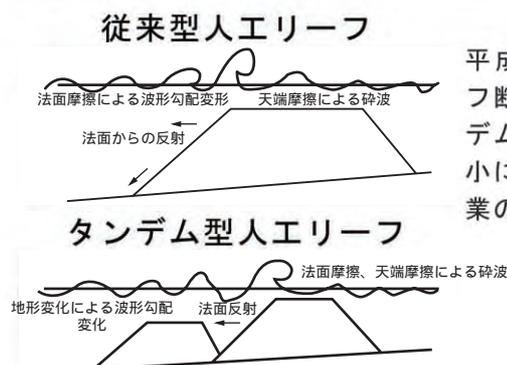
箇所名：苫小牧市、白老町

海岸延長：L = 24.595 km

事業開始時期：平成元年度



平成11年撮影
波浪時の状況



平成8年度から人工リーフ断面を従来型からタンデム型に変更し、断面縮小によるコスト縮減と事業の進捗を図っている。

平成15年度(完成)

おきみかいがん
沖見海岸環境整備事業

(補助)

1 概要

沖見海岸は、北海道北西部留萌市に位置し日本海に面した砂浜の海岸であり、留萌市民をはじめ旭川などの近郊から来る人を含め、年間約8万人の海水浴利用者等で賑いをみせている。ところが、冬期間に起きる海岸侵食はもとより、駐車場や砂浜が足りないことが課題であり、留萌市が計画する駐車場・公園の建設と合わせ平成2年度から海岸環境整備事業による保全対策を実施している。

平成15年度は養浜工を主とする工事を実施し、当該事業の完成を予定している。

2 計画内容

箇所名：留萌市沖見町

延長：L = 1 km

全体事業費：C = 約70億円

事業予定期間：平成2年度～平成15年度



平成15年度(継続)

おくしりこうかいがん

奥尻港海岸高潮対策事業

(補助)

1 概要

奥尻港海岸は、奥尻島東部に位置する海岸であり、波浪による越波や侵食の著しい地域である。当海岸は大規模な津波による影響と磯焼けにより藻類などの海生生物が減少している状況にある。また、平成5年の北海道南西沖地震津波により背後民家など甚大な被害を受けている。このため、背後地域の被害防止と失われた海洋資源の回復を図るため、エココスト事業として環境調和型の離岸堤(潜堤)の整備と津波対策を考慮した防潮堤の整備を進めている。

2 計画内容

箇所名：奥尻町

延長：離岸堤(潜堤) L = 150 km

防潮堤 L = 430 m

事業開始時期：平成3年度



1 概要

苫小牧港海岸は北海道南西部太平洋岸に面する海岸である。汐見地区においては過去侵食と高波により背後民家に多大な被害を与えたことから、昭和30年代に海岸保全施設が整備されている。しかし、近年老朽化が進んだこと、天端高不足により安全面が低下していること、さらに海と親しむことができる海岸空間を創出することなど、防護機能の向上に加え背後の街づくりと一体となった高度な海岸整備が望まれていたところであり、現在「ふるさと海岸整備事業」として既設離岸堤と組み合わせた養浜や緩傾斜護岸を行い、質の高い面的防護の整備を進めている。また、勇払地区の天然海岸では侵食が進み、近年台風により海岸線の一部が決壊し浸水被害が生じた。このため地域住民から抜本的な対策が求められており、現在離岸堤の整備を進めている。

2 計画内容

箇所名：苫小牧市

延長：汐見地区 護岸(改良) $L = 1,000\text{ m}$

勇払地区 離岸堤 $L = 400\text{ m}$

事業開始時期：平成2年度



平成15年度 道路関係事業の概要

1. 道路関係事業予算総括表

(単位：百万円)

事 項	直轄・補助別	事 業 費
道路整備事業		
道 路	総額 直轄 補助	368,372 259,684 108,688
高速道路		7,400
一般国道		229,870
うち高規格幹線道路		103,040
うち高規格道路		14,890
地方道路		85,240
うち高規格道路		460
交通連携(再掲)		(14,205)
雪調		44,637
寒査		1,225
街 路	総額 直轄 補助	56,992 7 56,985
区画整理		8,664
街交路		34,527
通路連携		13,620
街路調査		181
機 械	総額 直轄 補助	6,673 3,769 2,904
小 計	総額 直轄 補助	432,037 263,460 168,577
都市環境整備事業		
道路環境整備事業		
沿道環境		2,106
交通安全		38,119
電線共同溝		3,129
小 計	総額 直轄 補助	43,354 23,822 19,532
合 計	総額 直轄 補助	475,391 287,282 188,109

- 注) 1. 交通連携(再掲)は、一般国道及び地方道の事項に含まれている。
 2. 各事項の計数には、緊急地方道路整備事業費が含まれている。
 3. この他に道路関係社会資本として 事業費1,564百万円がある。
 4. 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

2.平成15年度道路整備事業の概要

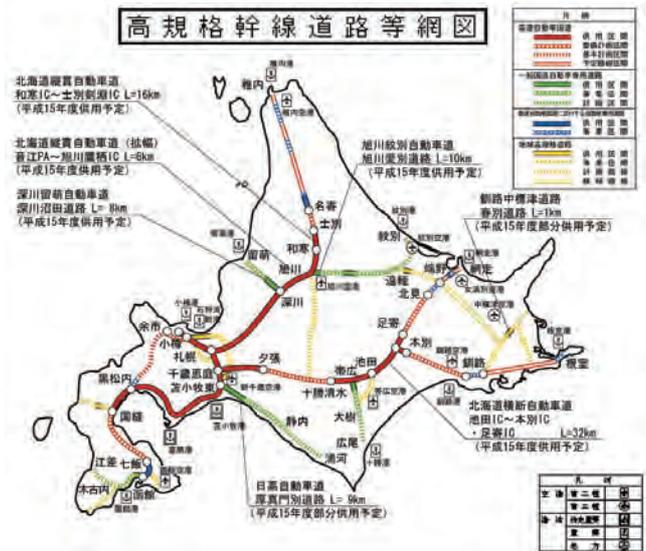
1 物流・人流の効率化、円滑化

北海道は広域分散型の地域社会を形成し、都市間距離が全国平均の約2倍と長くなっており、人流の90%、物流の98%を道路交通に依存していることから、北海道内における効率的な陸上輸送の整備を行うことで、北海道内はもとより、北海道外の市場への物流についてもコストの低減を図ります。

(1) 高規格幹線道路の整備

北海道の物流効率化を支援するため、物流基盤としての高規格幹線道路の整備を促進するとともに、早期ネットワーク形成のためコスト構造改革に取り組みます。

- ・総合的なコスト縮減の検討
- ・暫定的な出入口の設置等早期効果発現手法の検討
- ・追越し区間付き2車線整備等道路構造の検討



(2) 地域高規格道路の整備

高規格幹線道路網と一体となって、道内の各圏域相互の交流促進、交通拠点等との連結を図る地域高規格道路について整備を促進します。

(3) 主要な空港・港湾と連結する道路の整備

国際空港・重要港湾を連結し、広域交通ネットワークを形成することにより、物流・人流の効率化、円滑化を支援する道路について整備を促進します。



空港とのアクセス道路（新千歳空港関連）

2 一年を通じて安全で安心して暮らせる地域社会の形成

(1) 安全・信頼性の高い交通基盤の整備

北海道では、釧路沖地震、北海道南西沖地震等の大地震や、大規模岩盤崩落、有珠山火山噴火等の災害が発生し、大きな被害を受けました。そのため安全で災害に強い道路網の整備を進めます。

- ・岩盤斜面に係わる防災対策の推進
- ・緊急避難路等の整備の推進

道路災害の被害をより軽減するため、地域住民・防災関係機関・道路管理者などが緊密な連携をとりそれぞれの役割を果たす「地域防災パートナーシップ」の構築に努めます。



地域防災のイメージ図

(2) 安全で安心できる暮らしの確保

北海道の交通事故死者数は平成4年以降11年連続で全国ワースト1を記録しており、死者数を減らすため、交通事故多発地点で緊急対策事業を促進します。

また、冬期の安全な交通確保を目指し、つるつる路面対策への新技術の試行的導入等積極的に取り組みます。

	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
1位	愛知 589	北海道 585	北海道 595	北海道 619	北海道 632	北海道 595	北海道 613	北海道 533	北海道 536	北海道 545	北海道 516	北海道 493
2位	北海道 573	愛知 573	千葉 愛知 553	愛知 523	愛知 512	兵庫 497	千葉 464	愛知 423	千葉 422	愛知 443	愛知 403	愛知 398
3位	大阪 530	千葉 544	千葉 553	兵庫 490	兵庫 482	兵庫 485	千葉 442	千葉 404	埼玉 410	千葉 418	千葉 390	千葉 378

	発生件数	死者数	傷者数	致死率
北海道	28,674	493	36,786	1.72
全国	936,721	8,326	1,167,855	0.86

資料：平成14年度 北海道警察本部

(3) 有珠山など、緊急火山対策

有珠山噴火の被災地域の1日も早い復興を支援するため、噴火口の出現により通行不能となった国道230号の早期回復と関連道路網等の整備を進めます。

有珠山噴火をふまえ北海道の常時観測対象火山での迂回路・避難路の整備を進めます。また、火山活動に迅速に対応し、効率的な情報収集と迅速な防災体制の構築及び避難住民等への的確な情報提供を行うため、関係機関と連携し、火山防災情報ネットワークを構築します。



有珠山火山活動により国道230号上に発生した火口 (H12.4.2撮影)

3 情報技術による北海道の構造改革の推進

21世紀の高度情報化社会が進むなか、広域に都市・集落が散在する北海道の構造改革には、情報通信技術を活用することが有効であり、率先して情報通信基盤の整備を行う必要があります。このため、北海道ITS*推進プランに基づき、道路通信基盤の整備を進めるとともに、利用者にとって価値のあるITSサービスの構築を順次行うこととしています。

- ・ 民間事業者等の光ファイバー等の収容ができる情報ボックスの整備の促進
- ・ 道路管理用光ファイバーの芯線貸出しにより、高度情報通信網の地域格差の解消
- ・ 冬期道路の高度情報提供システムの実証実験・開発の促進

*ITS(Intelligent Transport Systems)最先端の情報通信技術を用いて「人」「道路」「車両」を情報によって一体のシステムとして構築する社会システムです。

冬期道路の高度情報提供システム？
道路または車両の各種センサ等により、障害物の存在、滑りやすい路面状態等を検知し、高度情報提供を行うことにより安全走行を支援するシステムです。



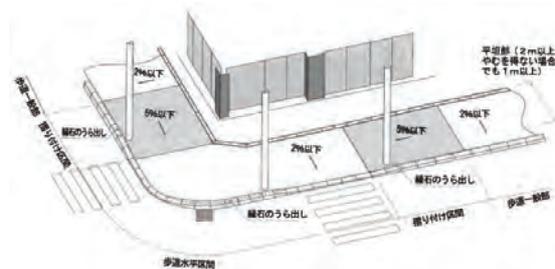
4 個性豊かな活力ある都市、地域の創造

(1) 地方都市の活性化

市町村間の交流を促進し、地域間交流と地域活性化に資する「交流ふれあいトンネル・橋梁」の整備を推進します。

(2) バリアフリー施策の展開

高齢者、身体障害者等に配慮した安全で快適な歩行空間を確保するため、バリアフリー化された歩行空間をネットワーク化します。



歩道バリアフリー化イメージパース

3. 主な事項（事業）

1 物流・人流の効率化、円滑化

(1) 高規格幹線道路等の整備

一般国道の自動車専用道路

- [継 続] 旭川・紋別自動車道等（5路線15区間）
- [供 用] 旭川・紋別自動車道旭川愛別道路10km
- [部分供用] 深川・留萌自動車道深川沼田道路8km
日高自動車道厚真門別道路9km

高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路

- [継 続] 一般国道38・44号釧路外環状道路等（5路線9区間）
- 地域高規格道路
- [継 続] 道央圏連絡道路等（7路線11区間）
- [部分供用] 釧路中標津道路春別道路1km



旭川・紋別自動車道 旭川愛別道路

(2) 主要な空港・港湾と連絡する道路の整備

- [継 続] 一般国道38号釧路新道
主要地方道釧路空港線
釧路空港・釧路港 等
- [完 成] 一般国道36号明野拡幅
新千歳空港・苫小牧港



一般国道36号 明野拡幅

2 一年を通じて安全で安心して暮らせる地域社会の形成

(1) 火山対策、有珠山周辺の復興支援

- [継 続] 一般国道230号虻田IC関連
一般国道278号鹿部道路等
- [供 用] 主要地方道洞爺湖登別線（壮瞥町）

(2) 社会基盤施設の安全性、確実性の向上

- [継 続] 一般国道229号積丹防災
一般道道天人峡美瑛線等
- [完 成] 一般国道277号鉛川防災
一般国道336号幌満防災
- [供 用] 一般国道333号北陽防災



一般国道277号 船川防災

3 情報技術による北海道の構造改革の推進

施設管理用光ファイバーの整備・情報ボックスの整備

- [完 成] 一般国道228号松前町～江差町（完成函館市～江差町）

4 個性豊かな活力ある都市、地域の創造

(1) 地方都市の活性化

- [継 続] 主要地方道岩見沢石狩線 岩見沢大橋

(2) バリアフリー施策の展開

- [継 続] 都心北地区（札幌市） 等

4. 主な新規事業箇所及び完成箇所

1 直轄事業

(1) 主な新規事業着手箇所 一般改築

路線名	箇所名	規模	備考
一般国道392号	上茶路防災	2.6 km	

(2) 主な供用予定箇所 一般国道の自動車専用道路

路線名	箇所名	規模	備考
日高自動車道	厚真門別道路	9 km	部分供用
深川・留萌自動車道	深川沼田道路	8 km	
旭川・紋別自動車道	旭川愛別道路	10 km	

地域高規格道路

路線名	箇所名	規模	備考
釧路中標津道路	春別道路	1 km	部分供用

一般改築

路線名	箇所名	規模	備考
一般国道333号	北陽防災	1.8 km	

2 補助事業

(1) 主な新規事業着手箇所 道道（地方道改修）

事業名	市町村名	規模	備考
主要地方道余市赤井川線	余市町・赤井川村	3.9 km	
主要地方道枝幸音威子府線	枝幸町・歌登町	1.8 km	
一般道道大観山公園線	網走市	2.0 km	

市町村道（地方道改修）

事業名	市町村名	規模	備考
市道福住平岸線	芦別市・赤平市	0.6 km	
市道曲長線	札幌市	1.0 km	
市道屯田3番	札幌市	0.6 km	

(2) 主な完成予定箇所 道道（地方道改修）

事業名	市町村名	規模	備考
主要地方道東瓜幕芽室線	音更町	2.4 km	ほか6箇所

(3) 主な供用予定箇所 道道（地方道改修）

事業名	市町村名	規模	備考
主要地方道洞爺湖登別線	壮瞥町	0.6 km	
一般道道天人峡美瑛線	美瑛町	1.7 km	羽衣トンネル

平成15年度(一部供用)

高規格幹線道路 日高自動車道 厚真門別道路 (直轄)

1 概要

厚真門別道路は、高速交通ネットワークの拡充による近隣主要都市間、特定重要港湾苫小牧港、新千歳空港へのアクセス向上、物流の効率化を支援し、地域の自立発展を支える、日高自動車道の一部を形成する、高規格幹線道路(一般国道の自動車専用道路)です。

当該路線の厚真ICから門別ICに至る延長20kmの区間は、地域の自立発展を支えるとともに、安全性、定時性の確保を目的として整備を進めており、平成15年度において厚真ICから鶴川ICに至る延長8.6kmの区間を暫定2車線で部分供用します。

2 計画内容

箇所名：北海道勇払郡厚真町～北海道沙流郡門別町

延長：L=20.0km

全体事業費：C=約860億円

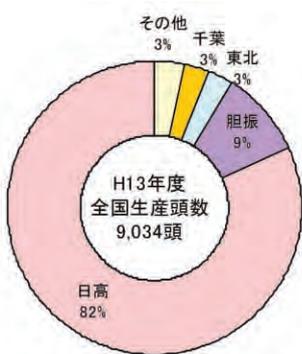
供用予定：平成15年度(厚真IC～鶴川IC L=8.6km暫定2車線供用)



位置図



平面図



地域別軽種馬生産頭数
日高軽種馬農業協同組合資料より



軽種馬輸送における高規格道路の利用例



周辺6町の札幌・苫小牧への救急患者搬送状況
北海道開発局調べ
(H12年、1次・2次搬送合計)

期待される効果

- ・物流効率化の支援：特定重要港湾苫小牧港、新千歳空港等へのアクセス性が向上。
- ・地域の基幹産業の支援：軽種馬及び農水産物などの輸送の迅速性、安全性が向上。
- ・地域医療の支援：救急・救急搬送、通院の迅速性、利便性が向上。
- ・観光の振興：地域の産業、自然、文化を活かした観光の活性化に貢献。

平成15年度(完成)

高規格幹線道路 深川留萌自動車道 深川沼田道路 (直轄)

1 概要

深川沼田道路は、高速交通ネットワークの拡充による近隣主要都市間、重要港湾留萌港等への物流の効率化を支援し、地域の自立発展を支えるとともに、高次医療機会の支援等を目的とした、深川留萌自動車道の一部を形成する、北海道縦貫自動車道深川ICから分岐し、沼田ICに至る延長20.0kmの高規格幹線道路(一般国道の自動車専用道路)です。

当該区間は、安全性、定時性の確保を図り、地域の基幹産業や広域行政の支援等を目的として整備を進めており、平成15年度において、秩父別ICから沼田ICに至る延長8.4kmの区間を暫定2車線で供用します。

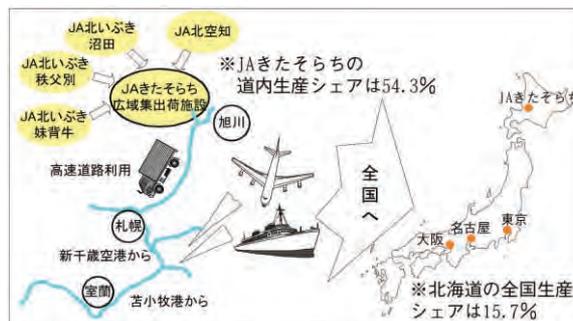
2 計画内容

箇所名：北海道深川市音江町字向陽～北海道雨竜郡沼田町字北竜
延長：L=20.0km
全体事業費：C=約970億円
供用予定：平成15年度(暫定2車線供用)

広域ごみ処理の取り組み状況



JAきたそらちのスターチスの生産シエア



期待される効果

- ・ 広域行政の支援：広域ごみ処理の地域間輸送を支援。
- ・ 地域の基幹産業の支援：基幹産業であるスターチス等の安定的な輸送を支援。
- ・ 地域医療の支援：安全・確実な緊急搬送経路の確保。
- ・ 観光の振興：ほたる鑑賞が楽しめる温泉やオートキャンプ場等の観光地へのアクセス性、利用者の利便性の向上。

平成15年度(完成)

高規格幹線道路旭川紋別自動車道旭川愛別道路

(直轄)

1 概要

旭川愛別道路は、道北圏域とオホーツク圏域の交流促進、物流の効率化と生活の利便性の向上に寄与する旭川紋別自動車道の一部を形成する高規格幹線道路(一般国道の自動車専用道路)です。

当該路線の北海道縦貫自動車道比布JCTから分岐し、愛別ICに至る延長10.0kmの区間は、安全性の確保を図り、観光産業への支援等を目的として整備を進めており平成15年度において、全線暫定2車線で供用します。

2 計画内容

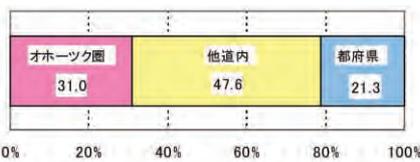
箇所名：北海道上川郡比布町蘭留～北海道上川郡愛別町字愛別

延長：L=10.0km

全体事業費：C=約430億円

供用予定：平成15年度(暫定2車線供用)

ホタテ貝生産量の全国シェア



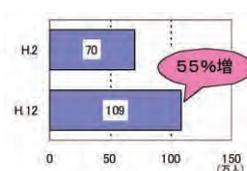
資料：農林水産省、北海道水産林務部

サロマ湖周辺からのホタテ貝の出荷先



資料：ヒアリング調査による

層雲峡の道外観光客



資料：北海道経済観光局



期待される効果

- ・ 高速交通ネットワークの形成：北海道縦貫自動車道との接続により、混雑する旭川市街地の回避により広域交通条件が向上。
- ・ 農水産品の安定供給：全国有数の農水産品生産拠点のオホーツク圏から全国への迅速で安定した出荷ルートの確保。
- ・ 観光資源の活用：比布スキー場、愛別きのこフェスティバルあいべつオートキャンプ場等沿線観光地への入込客増加を通じて、地域づくりに貢献。
- ・ 広域観光ルートの形成：層雲峡やオホーツク方面への広域観光ルートが形成。

平成15年度(供用)

一般国道333号北陽防災

(直轄)

1 概要

一般国道333号は、遠紋圏(遠軽紋別)と北網圏(北見網走)を結び、広域交流の促進、沿道市町村の連携強化を図る上で重要な主要幹線道路です。

当該区間は、平成13年10月4日に発生した北陽土砂崩落により、現在、片側交互通行(夜間通行止)の状況にあり、地域の主要産業である農水産業等の物流や救急搬送、通院、通学等、地域の社会生活・経済活動に大きな影響を及ぼしています。

このため、早期の幹線道路としての機能回復と安全で確実な道路交通の確保を図ることを目的として整備を進めており、平成15年度において、土砂崩落箇所を回避した延長1.8kmを供用します。

2 計画内容

箇所名：北海道^{きたみ ほくよう}北見市北陽～北海道北見市北陽
 延長：L = 1.8 km
 全体事業費：C = 約37億円
 供用予定：平成15年度(2車線供用)

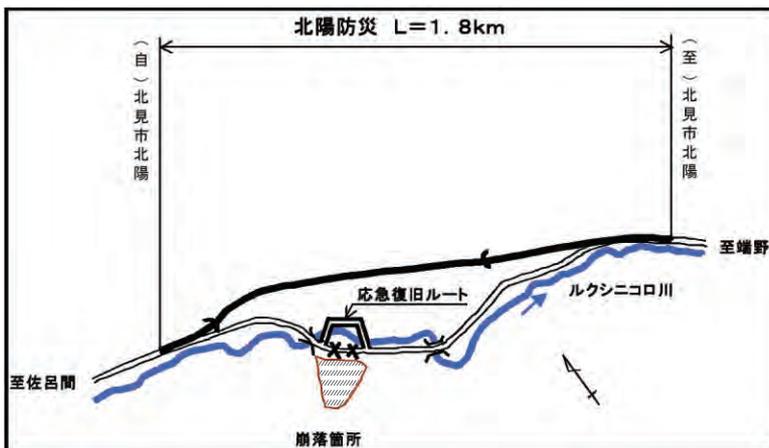
位置図



斜面崩落状況



平面図



岩盤崩壊による災害の再発防止に向けた取組

H13.10.4北見市北陽で大規模な斜面崩落が発生し、乗用車1台が巻き込まれ2名の尊い生命が失われました。H14.4.26、崩壊原因の究明、復旧の方針及び再発防止などをまとめた報告書が調査委員会から提出されました。北海道開発局では、これをふまえて再発防止対策に取り組んでいます。

- ・ 道路防災対策事業の推進：長大斜面、法面における岩石崩壊、落石・崩壊、地滑り等の要対策箇所の重点的事業促進。
- ・ 維持管理の高度化：道路巡回の充実、防災ドクターの活用、道路パトロール支援システムの試験運用。
- ・ 道路防災体制の強化：通信手段の確保、自動遮断システムの試験運用。
- ・ 地域防災パートナーシップ：道路防災連絡協議会の全道展開、道路情報提供の充実。



道路パトロール支援システム



網走地方道路防災連絡協議会設立
(H14.11設立)



道路情報提供
(H15.1.28 サービス開始)

平成15年度（新規調査）

一般国道242号 千代田大橋 ちよだおおはし

（直轄）

1. 概要

一般国道242号は、網走市と帯広市を結ぶ物流等の地域産業に資する他、緊急搬送路等の生活道路としての役割を担い、災害時には東西の大動脈である国道38号の迂回路としても重要な機能をもっている幹線道路です。

千代田大橋は、池田町と幕別町の境界となっている十勝川を渡る橋長706mの橋梁です。本橋梁は車道幅員が5.5mで狭いため大型車同士の円滑なすれ違いが困難であるとともに、歩道が無いことから歩行者や自転車などの安全な通行の妨げにもなっている状況です。

また、橋梁中央部は昭和29年の架設で約50年を経過している老朽橋です。十勝地方は過去に十勝沖地震などで被災しており、今後も大規模な地震が発生する確率が高い地域です。

このため、本橋周辺の交通状況と橋梁の耐震性について平成15年度より総合的に調査を実施します。

2. 橋梁諸元

箇所：ほっかいどうながわ いけだ ちよだ ほっかいどうながわ まくべつ あけの北海道中川郡池田町千代田～北海道中川郡幕別町明野

延長：L = 706 m

幅員：W = 5.5 m (6.0 m)

構造形式：(中央部) 曲弦ワーレントラス橋 (昭和29年架設)
(側径間部) ポステンT桁橋 (昭和41年架設)

位置図



平面図



(十勝毎日新聞 2002/5/12)



大型車同士のすれ違い状況



千代田大橋を渡る歩行者の状況

平成15年度（供用）

とうやこのぼりべつ
主要地方道 洞爺湖登別線

（補助）

1 概要

主要地方道洞爺湖登別線は、胆振支庁管内の虻田町洞爺湖温泉と登別市を結ぶ主要な幹線道路であり、当該区間は洞爺湖温泉・壮瞥温泉地区と壮瞥町市街を結ぶ唯一の路線です。

当該工区は活動火山対策特別措置法に基づく「避難施設緊急整備計画」に位置づけられており、狭隘区間を解消し歩道を設置することにより、円滑な避難を確保するための機能強化を図るものです。

2 計画内容

箇所名：有珠郡壮瞥町壮瞥温泉～有珠郡壮瞥町滝之町

延長：L = 0.6 km

全体事業費：C = 1,310百万円

事業期間：平成12年度～平成15年度



期待される効果

狭隘区間を解消し歩道を設置することにより、災害時における迅速かつ円滑な避難活動に寄与し、地域住民及び観光客等の安全の確保に貢献します。

災害時における安全性の向上により温泉等の豊かな観光資源を有する当該地域のイメージアップに貢献し、観光客の増加等、地域経済の活性化を支援します。

平成15年度(完成)

おおあさひがしかりき
一般道道 大麻東雁来線

(補助)

1 概要

一般道道大麻東雁来線は、札幌市中心部と江別市を連絡する生活・産業のための幹線道路であり、物流ルートとしてのほか、JR白石駅へのアクセス路としても利用されています。

沿線は公共施設をはじめ商店街や家屋が連担しており、バス路線であるほか近隣小学校の通学路として歩行者交通量も多く、一年を通して安全で快適な道路環境の確保が必要です。

当路線は、冬期においては雪山による車道の車線減少(4車線から2車線)や歩道の狭隘化など道路機能の著しい低下を招いていることから、流雪溝整備により冬期の交通円滑化や安全で快適な歩行空間の確保を図るものです。

2 計画内容

箇所名：札幌市白石区北郷地内しろいし きたごう

延長：L = 1.5 km

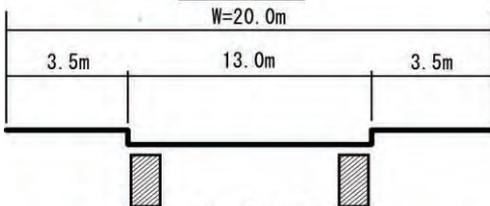
全体事業費：L = 910百万円

事業期間：平成11年度～平成15年度

位置図



定規図



現況写真



概略図



参考写真(新琴似流雪溝)



整備前



整備後

期待される効果

歩車道境界部の雪山が解消されることにより冬期における車道スペースが確保され、またバスの定時制が向上するなど交通の円滑化が図られます。

冬期においても安全で快適な歩行空間が確保され、地域商店街の活性化にも寄与します。

平成15年度(新規)

むろらんかんじょう
主要地方道 室蘭環状線
 ひがしむろらんでいしやじょう
一般道道 東室蘭停車場線

(補助)

1 概要

主要地方道室蘭環状線及び東室蘭停車場線は、「交通バリアフリー法」に基づき基本構想計画を策定した東室蘭駅周辺地区の重点整備地区内にある特定経路の一部を構成する路線であり、当該地区は室蘭市の商業施設や公益施設、医療施設が集積する地区で、市内外から多くの人々が訪れる地区となっています。

当該路線は、今後の少子・高齢化社会の急速な進展に向け、誰もが安心して歩ける歩行者空間の創出のため、ユニバーサルデザインに配慮した歩道の再整備を行うものです。

2 計画内容

箇所名：室蘭市^{なかしまちょう}中島町地内

延長：L = 1.6 km(室蘭環状線) \ L = 1.6 km(東室蘭停車場線)

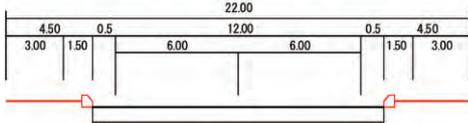
全体事業費：C = 162百万円(室蘭環状線) \ C = 126百万円(東室蘭停車場線)

事業予定期間：平成15年度～平成16年度

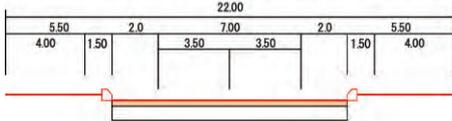
位置図



標準断面図(室蘭環状線)



標準断面図(東室蘭停車場線)



概略図



現況写真



期待される効果

既設歩道の段差・傾斜・勾配の改善により、高齢者・身障者の社会進出を支援します。

国道、市道及び交通事業者と連携したバリアフリーネットワークが早期形成されます。

平成15年度 港湾整備事業の概要

1. 港湾整備事業予算総括表

(単位：百万円)

事 項	直轄・補助別	事 業 費
港湾改修事業	直 轄	55,720
	補 助	2,608
港湾環境整備事業	補 助	1,080
作業船整備費	直 轄	142
港湾事業調査費	直 轄	50
合 計	総 額	59,600
	直 轄	55,912
	補 助	3,688

注) 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

2.平成15年度港湾整備事業の概要

1 ネットワーク機能の強化

- (1) 対アジア等とのコンテナ輸送ネットワークの強化
増大する外貿コンテナ貨物に対応するため、中核港湾における外貿コンテナ輸送拠点機能を拡充する。

【苫小牧港】

苫小牧港東港区中央水路地区
多目的国際ターミナル



- (2) 既存施設の有効活用

老朽化・遊休化した既存施設について、改良により既存ストックの有効活用を図る。

【室蘭港、苫小牧港、函館港等】

2 地域の活性化と個性の発揮

- (1) 原材料の輸送等に対応した
多目的国際ターミナルの拠点整備

北海道の基幹産業である、製紙産業と農業・畜産業などを支える原材料の輸入に対して、多目的国際ターミナル等を拠点的に整備する。

【釧路港、石狩湾新港、留萌港等】

- (2) 街づくりとの連携

街づくり事業と連携を図り、豊かで活力ある質の高いウォーターフロント空間づくりの推進。

【稚内港、網走港】



石狩湾新港西地区多目的国際ターミナル

- (3) 地域の生活、産業の基盤となる港湾の整備

地域における生産、物流の基盤を強化するため、地方港湾の整備を進める。

【白老港、天塩港等】

3 暮らし・自然・景観との融合

- (1) 北海道の有する貴重な自然環境の保全

海域環境創造事業等への取り組みを進めるとともに、生態系との共生に配慮した環境共生施設の導入を推進。

【小樽港、釧路港】

- (2) バリアフリーの推進

フェリー、旅客船ターミナル等のバリアフリー化を推進。

【稚内港、羽幌港等】



羽幌港フェリーターミナル

4 安全・安心な暮らしの実現

(1) 耐震強化岸壁の配備

耐震強化岸壁を配備した臨海部防災拠点の形成。

【室蘭港、留萌港、稚内港、沓形港等】

(2) 広域防災フロートの配備

活火山が多く存在する噴火湾への防災フロートの配備。

【室蘭港】



室蘭入江地区耐震強化岸壁整備
(既存岸壁の耐震強化)

3. 主な事項 (事業)

1 物流の効率化効果を図るため多目的国際ターミナル等の整備を促進

(1) 多目的国際ターミナルの整備

[継 続] 苫小牧港 東港区中央水路地区 岸壁 (-14m)

[継 続] 釧路港 西港区西港地区
泊地 (-14m)、防波堤(島)

[継 続] 石狩湾新港 西地区 岸壁 (-14m)

[継 続] 留萌港 三泊地区 泊地 (-12m)

(2) 既存施設の有効活用

[継 続] 室蘭港 築地地区 岸壁 (-8m) (改良)

[継 続] 苫小牧港 西港区勇払地区 岸壁 (-12m)
(改良)



釧路港西港区第4ふ頭
多目的国際ターミナル

2 まちづくりと一体となった快適な港湾空間づくりを促進

(1) フェリー、旅客船ターミナル等の整備

[継 続] 稚内港 中央ふ頭地区 岸壁 (-7.5m) 等

[継 続] 網走港 川筋地区 港湾施設用地

[継 続] 羽幌港 本港地区 岸壁 (-5m)



網走港川筋地区の整備イメージ

3 生物環境、自然環境と調和した港湾空間の創造

(1) シーブルー事業

[継 続] 小樽港 本港地区 小樽運河

(2) エコポートモデル事業

[継 続] 釧路港 西港地区 防波堤(島)

4 安全・安心な暮らしを実現するため耐震岸壁等の整備を促進

(1) 耐震強化岸壁の配備

[暫定供用] 留萌港 三泊地区 岸壁(-12m)

[継 続] 稚内港 中央ふ頭地区 岸壁(-6m)

[継 続] 羽幌港 本港地区 岸壁(-5m)

(2) 広域防災フロートの配備

[供 用] 室蘭港 祝津地区 物揚場(-4m) (船溜)



室蘭港防災フロート

4. 主な新規事業着手箇所及び完成箇所

1 直轄事業

(1) 主な新規事業着手箇所

事業名	箇所名	規模	備考
複合一貫輸送に対応した内質ターミナルの形成	室蘭港入江地区 岸壁(-8m) (改良)(耐震)	L = 233m	
国内物流ターミナルの整備	沓形港本港地区 岸壁(-7.5m)(耐震)	L = 175m	

(2) 主な完成予定箇所

事業名	箇所名	規模	備考
多目的国際ターミナル整備	函館港港町地区 岸壁(-12m)	L = 240m	
〃	留萌港三泊地区 岸壁(-12m)	L = 240m	暫定供用
水中荷捌き施設の整備	岩内港本港地区 港湾施設用地(水中)	A = 7,000m ²	

2 補助事業

主な完成予定箇所

事業名	箇所名	規模	備考
広域防災フロートの整備	室蘭港祝津地区 物揚場(-4m) (船溜)	L x B = 80m x 24m	

1 概要

中核国際港湾に位置付けられている苫小牧港の外貿コンテナ貨物量の増加に対応するため、東港区において多目的国際ターミナルの整備を促進する。

2 計画内容

箇所名：苫小牧港東港区

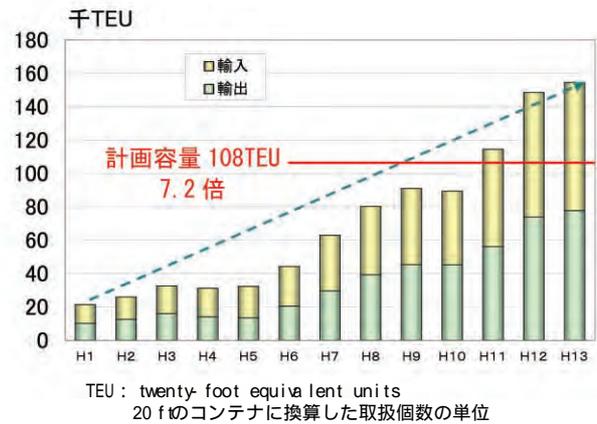
施設規模：東港区中央水路地区岸壁(-14m)・泊地(-14m)等継続

多目的国際ターミナルの整備により、外貿コンテナ船の滞船や港内でのコンテナ貨物の横持ち等の費用が削減される。

また、米製材運搬船の喫水調整が解消され、海上輸送コストの削減が図られる。



苫小牧港の外貿コンテナ取扱実績



中央水路地区多目的国際ターミナル



約7万TEU/年

平成15年度(新規) くつがたこう

沓形港国内物流ターミナルの整備(耐震)

(直轄)

1 概要

利尻島のような離島では、災害時の住民避難や緊急物資輸送を海上輸送に依存せざるをえないため、大規模地震においても、災害救援活動支援や物資輸送が円滑に行えるよう、耐震強化岸壁を有する防災拠点を整備する。併せて、大型クルーズ船の寄港需要や貨物取り扱い需要にも対応する。

2 計画内容

箇所名：沓形港本港地区

施設規模：岸壁(75m)(耐震)等

利尻島では、災害時の住民避難や緊急物資輸送に対応する耐震強化岸壁が未整備である。

そのためフェリー等の船舶が緊急時に利用できる耐震強化岸壁を整備し、大規模地震時における防災機能の強化、物流の安定化を図る。

利尻島は、離島クルーズの中でも人気が高いが、大型クルーズ船に対応した岸壁がなく、乗船客はテンドーボートを利用して上陸している。高齢者等の乗り降りが困難であり、気象条件次第では沓形港に入港できないことがある。

そこでクルーズ船対応の75m岸壁として整備する。



テンドーボートへの乗り換え



沓形港沖に停泊中の大型クルーズ船

平成15年度(継続)おたるこう

小樽港海域環境創造事業(シーブルー)

(補助)

1 概要

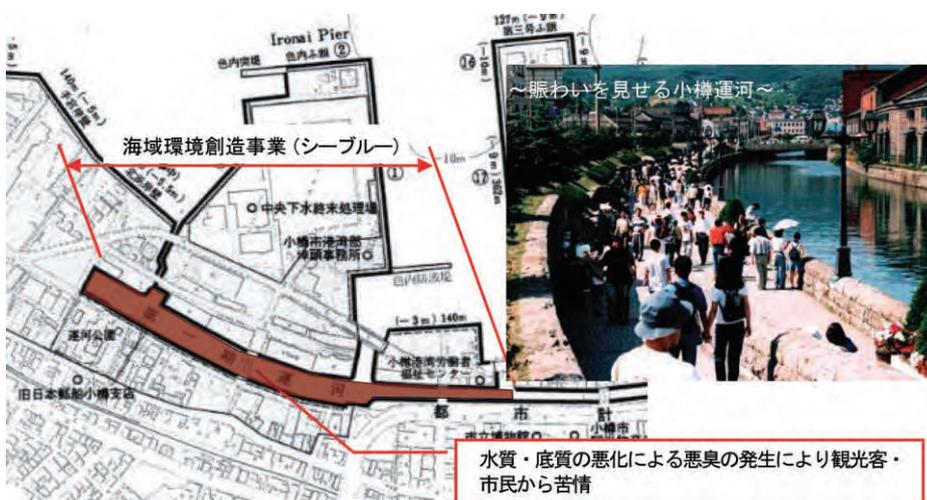
小樽市を訪れる観光客は年間約900万人にものぼり、その多くが小樽運河を訪れている。しかし、小樽運河は水質・底質の悪化が激しく、メタンガスや悪臭が発生し観光客や市民の苦情が相次いでいる。このことから覆砂・汚泥除去により小樽運河の水域環境を回復し、港湾の利用環境を改善するとともに魅力ある水辺空間を創出する。

2 計画内容

箇所名：小樽港本港地区

施設規模：小樽運河 20,000m²

小樽市の観光入り込み客数は賑わい施設の整備・充実に伴い近年確実に増加している。



汚泥除去後の覆砂により、有機物の溶出を抑え、バクテリア等の浄化作用により、水質・底質が改善される。

平成15年度 空港整備事業（北海道開発局実施分）の概要

1. 空港整備事業予算総括表

（単位：百万円）

事 項	直轄・補助別	事 業 費
北海道空港整備事業費	直 轄	6 , 0 4 2
北海道空港整備事業調査費	直 轄	4 3
合 計	直 轄	6 , 0 8 5

- 注) 1. 東京航空局からの付替分87.5百万円を含む。
 2. 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

2.平成15年度空港整備事業の概要

1 国際・国内交流の拠点づくり

(1) 長距離国際路線の安定運航のための新千歳空港の整備

新千歳空港において、欧米等長距離国際路線の安定運航等を図るため、滑走路の500m延長に係る環境調査や計画に関する情報公開（パブリック・インボルブメント）等を実施する。

(2) 交流を支える交通ネットワーク等の社会資本整備

観光客等の出入り口となる函館空港のターミナル地区の拡張整備を進める。

また、札幌飛行場（丘珠空港）の滑走路改良事業（1,500m化）及び、駐車場の拡張整備を進める。



新千歳空港



札幌飛行場（丘珠空港）

2.利用者利便の向上

(1) 少子高齢社会に対応したバリアフリー施設の整備

少子高齢社会に対応し、高齢者・障害者・妊婦・子連れ等、全ての人々が安心して利用できる空港にすることが必要であるため、稚内空港の道路駐車場のバリアフリー化を進める。

(2) 効率的な運用を確保するための施設整備

既設誘導路における混雑を解消するため新千歳空港の誘導路を移設する。

(3) 安全機能を向上させるための施設改良

地震に強い施設への改良として、釧路空港の用地造成と、PAL S 進入灯橋梁を免震構造に改良する。

(4) 安全機能を確保するための施設改良

新千歳空港・釧路空港の滑走路及び誘導路等を改良する。



バリアフリー化イメージ



釧路空港

3. 主な事項（事業）

1 交流を支える交通ネットワーク等の社会資本整備

(1) 函館空港のターミナル地区の拡張整備 [継 続]

(2) 札幌飛行場（丘珠空港）の滑走路改良
（1,500m化）及び駐車場拡張整備 [完 了]



函館空港ターミナル拡張事業

2 利便性の向上

(1) バリアフリー施設の整備
[新 規] 道路駐車場改良事業（稚内空港）

(2) 効率的な運用の確保
[完 了] 誘導路移設（新千歳空港）

(3) 安全機能の向上
[完 了] 高盛土法面改良事業
[継 続] 進入灯橋梁免震化事業

(4) 安全機能の確保
[継 続] 滑走路改良事業（新千歳空港・釧路空港）
[継 続] 誘導路改良事業（新千歳空港・釧路空港）



稚内空港道路駐車場改良事業



札幌飛行場滑走路・誘導路改良事業

4. 主な新規事業着手箇所及び完成箇所

1 直轄事業

(1) 主な新規事業着手箇所

事業名	箇所名	備考
道路駐車場改良	稚内空港	

(2) 主な完成予定箇所

事業名	箇所名	備考
滑走路改良	札幌飛行場（丘珠空港）	
駐車場拡張	札幌飛行場（丘珠空港）	
誘導路移設	新千歳空港	
高盛土法面改良	釧路空港	

平成15年度(継続) はこだてくうこう
函館空港ターミナル地区拡張整備事業

(直轄)

1 概要

函館空港は、道南観光の空の玄関口として増加傾向にある空港利用者の利便性向上と施設の高質化に向け平成10年度よりターミナル地域拡張整備に着手し、エプロンの拡張をはじめ、慢性的に不足している駐車場の拡張及びバリアフリー対策として歩道やバス乗降場へのルーフの設置等並びに、当該事業に合わせた道道(北海道事業)・市道(函館市事業)の切り下げによる高さ変更を実施しているところである。

さらに平成14年度からはターミナルビル増改築工事(民間事業)が着手されたところであり、新ターミナルビル供用開始にあわせ、事業の進捗を図るものである。

2 計画内容

箇所名：函館空港

整備概要：エプロン拡張 3 バース増、駐車場拡張 約 1.1 万 m²増

全体事業費：C = 100 億円

事業予定期間：平成10年度～平成18年度



函館空港ターミナル地区現状



ターミナル工事風景



ターミナル地区完成予想鳥瞰図

平成15年度 都市・住宅事業の概要

1. 都市・住宅事業予算総括表

(単位：百万円)

事 項	直轄・補助別	事 業 費
道路整備事業		
街路事業(街路交通調査)	直 轄	7
街路事業	補 助	48,321
土地区画整理事業	補 助	8,664
小 計	総 額	56,992
	直 轄	7
	補 助	56,985
住宅事業	補 助	69,789
市街地整備事業	補 助	3,822
都市水環境整備事業	補 助	171
下水道事業	補 助	72,232
国営公園事業	直 轄	2,126
都市公園事業	補 助	18,501
合 計	総 額	223,633
	直 轄	2,133
	補 助	221,500

注) 1. 道路整備事業については、道路関係事業の再掲である。
 2. 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

2.平成15年度都市・住宅事業の概要

平成15年度都市・住宅事業予算については、厳しい経済状況にある北海道が豊かな資源と個性を活かして、地域の活力を回復し、我が国経済・社会の発展に積極的に貢献する観点から、「人間力の向上発揮」、「個性と工夫に満ちた魅力ある都市と地方」、「公平で安心な高齢化社会・少子化対策」、「循環型社会の構築・地球環境問題への対応」といった分野を重点的に推進する。

このため、都市圏交通円滑化や中心市街地活性化等により北海道らしい魅力あるまちづくりを促進する街路整備・土地区画整理事業を推進するとともに、都市に緑とうるおいを与える都市公園の整備、生活環境の改善、水質及び自然環境の保全を図る下水道の整備を推進する。

また、住宅及び住環境に対するニーズの高度化・多様化や本格的な高齢社会の到来等に対応するため、北海道の冬の生活に配慮した公営住宅の供給及び住宅宅地関連公共施設の整備等を推進する。

3.都市・住宅事業の主な事項

(1)街路事業(補助)

都市の再生を図るため、放射環状道路の整備や鉄道の高架化などの総合的な都市基盤形成を行い、併せて少子高齢化等の多様なニーズや環境問題に対応した街路事業を推進する。

実施箇所数

種 別	継 続	新 規	計	完成(予定)
街 路	76	7	83	12
交通連携	23	2	25	3

「交通連携」：空港・港湾等へのアクセス強化、交通結節点及び踏切の除却・改良等

主な事業箇所

- ・札幌市 そうせいがわどおり 創成川通(継続)
- ・旭川市 えいりゅうばしどおり 永隆橋通(継続)
- ・室蘭市 むろらんえきしゅうへんちく 東室蘭駅周辺地区(新規着手)
- ・小樽市 ちゅうおうどおり 中央通(完成予定)

(2)土地区画整理事業(補助)

都市の再生を図るため、既成市街地の再構築や新しい都市拠点の創出、及び計画的な定住基盤の確保に資する土地区画整理事業を推進する。

実施箇所数

種 別	継 続	新 規	計	完成(予定)
公共施行	13	-	13	1
組合施行	8	2	10	1

「公共施行」：市町村などの地方公共団体が施行するもの

「組合施行」：土地所有者等が共同で設立した組合が施行するもの

主な事業箇所

- ・旭川市 あさひかわえきしゅうへん 旭川駅周辺(継続)
- ・函館市 はこだてえきまえ 函館駅前(継続)
- ・札幌市 しんごといえきまえ 新琴似駅前(継続)
- ・札幌市 むがし 東さっぽろ(完成予定)
- ・帯広市 いなだかわにし 稲田川西(新規着手)
- ・幕別町 まつないほくえい 札内北栄(新規着手)

(3) 都市公園事業（直轄、補助）

広域的レクリエーション活動、自然とのふれあい、コミュニティの形成等の多様な市民ニーズに対応し、都市にうるおいを与えるための公園や、大震災時の避難地、火災の延焼防止、救援活動拠点として機能する都市公園等の整備を推進する。

また、国営滝野すずらん丘陵公園において、国民の広域化・多様化するレクリエーション需要に対応するため、中心ゾーン「森のすみか（林業を営む森の集落）」の平成16年度の開園を目指して整備促進を図るとともに、「森林体験ゾーン」の整備を行う。

実施箇所数

種 別	継 続	新 規	計	完成（予定）
国営公園	1	-	1	-
都市公園	5 5	4	5 9	9
緑地保全	2	1	3	-

「都市公園」：都市計画施設である公園又は緑地で、地方公共団体が設置するもの及び地方公共団体が都市計画区域において設置する公園又は緑地をいう。

「緑地保全」：都市緑地保全法に基づく事業で、緑地保全地区の土地の買入れ及び保全利用施設の整備、及び都市緑地保全法に基づく市民緑地や条例に基づく保全緑地など緑地保全地区に準ずる緑地の土地の買入れ及び保全利用施設の整備を行う事業をいう。

主な事業箇所

- ・帯 広 市 とかち 十勝エコロジーパーク（継続）
- ・名 寄 市 とうやこ サンピラーパーク（継続）
- ・札 幌 市 さかえみなみ 栄南緑地（継続）
- ・虻 田 町 とうやこ 洞爺湖温泉公園（新規）
- ・妹背牛町 ゆうすい 遊水公園うらら（完成予定）
- ・初山別村 ゆうすい みさき台公園（完成予定）
- ・登 別 市 キウシト キウシト湿原緑地保全地区（継続）
- ・札 幌 市 東さっぽろ 東さっぽろ中央公園（完成予定）
- ・札 幌 市 さんりづか 三里塚緑地保全地区（継続）
- ・北 広 島 市 きたひろしましみなみ 北広島市南の里緑地保全地区（新規）

(4) 下水道事業（補助）

豊かさを実感できる生活環境づくり、安全で安心して暮らせるまちづくり、健全な水循環、良好な水環境の再生・保全等の方針に基づき、下水道の普及促進、雨水の浸水対策、汚水の高度処理、下水道資源・施設の有効利用、下水道施設の高度化等を引き続き推進する。

具体的には未供用町村の早期開始を目指すとともに、汚泥処理の効率化（下水道汚泥処理総合計画検討、汚泥集中処理及び汚水処理施設共同整備事業）、積雪対策（融雪槽、融雪管）、合流式下水道改善対策（分流化、緊急改善計画検討）を行う。

実施箇所数

種 別	継 続	新 規	計
公 共 下 水 道	9 2		9 2
流 域 下 水 道	3		3
特定環境保全公共下水道	7 4		7 4

「公共下水道」：主として市街地における下水を排除し又は処理するために地方公共団体が管理する下水道である。終末処理場を有するもの又は流域下水道に接続するものがある。

「流域下水道」：2以上の市町村の区域を対象とし、専ら公共下水道から下水を受け、これを排除及び処理するための下水道で、原則として都道府県が管理するものである。

「特定環境保全公共下水道」：公共下水道のうち市街化区域以外の区域に設置されるもので、農山漁村の生活環境の改善又は湖沼等の自然環境の保全を目的に行う下水道である。

主な事業箇所

- ・古平町、厚真町、今金町 公共下水道（H15年度供用開始予定）
- ・厚田村、留寿都村、 特定環境保全公共下水道（H15年度供用開始予定）
- ・札幌市 東部スラッジセンター（新規着手）
- ・札幌市 伏古川融雪管（完成予定）
- ・清水町 汚水処理施設共同整備事業（MICS）（完成予定）

(5) 住宅事業（補助）

a 公営住宅建設等事業

地方公共団体等が、公営住宅等の建設等を推進するとともに、生活援助員（ライフサポートアドバイザー＝L S A）が常駐する等の高齢者世帯向けシルバーハウジング・プロジェクト事業、公営住宅等とシルバーハウジングとの間で、福祉施設などの生活空間や居住支援システムを共用し、一体的な居住環境を創出するコレクティブハウジングの整備を進める。

また、環境への負荷低減や資源の有効利用に配慮した環境共生型公共賃貸住宅の整備を進める。

実施箇所数

（単位：戸）

事業主体	公営住宅	特定優良賃貸住宅	高齢者向け優良賃貸	計
北海道・民間	3,320	850	1,750	5,920

（公営住宅には改善戸数1,030戸を含む。）

「コレクティブハウジング」：多数多年層の世帯が共同・集団で居住し、通常は食事、保育、洗濯などの日常生活のかなりの部分を共同化するというライフスタイルを実践する居住空間のこと。

主な事業箇所

- ・南幌町 道営柳陽団地 [シルバーハウジング・プロジェクト、ふゆトピア]（継続）
- ・長万部町 町営大浜団地 [コレクティブハウジング]（継続）
- ・阿寒町 町営布伏内B団地 [環境共生型公営住宅]（継続）

b 住宅地区改良事業

既成市街地等の住環境を整備し、良質な住宅を供給するため、不良住宅の除却、道路・公園等の整備、改良住宅の建替、改善を推進する。

平成15年度においては、美唄市等において事業を実施する。

実施箇所数（改良住宅等改善事業（建替））

（単位：地区）

都道府県	継続	新規	計	備考
北海道	3	-	3	

主な事業箇所

- ・美唄市 有為地区（継続）
- ・赤平市 福栄地区（継続）
- ・歌志内市 歌神地区（継続）

c 住宅宅地関連公共施設等総合整備事業

平成15年度は（仮称）平岡ライブヒルズほかなどにおいて、道路、街路及び公園整備を実施するなど、良好な宅地の整備を推進する。

実施箇所数

（単位：団地）

都道府県（政令市）	継続	新規	計	備考
北海道	9	-	9	（市町村分含む）
札幌市	5	-	5	

主な事業箇所

- ・札幌市 （仮称）平岡ライブヒルズほか（継続）
- ・帯広市 南部団地（継続）

d 住宅市街地整備総合支援事業（都市再生住宅等）

平成15年度は、札幌市北21条団地で都市再生住宅を、豊平橋南2 - - B地区などにおいて優良な建築物の整備を進め、また、松前町本町中央部地域などにおいて、地区施設等の整備改善を推進する。

実施箇所数

事業名	継 続	新 規	計	完成(予定)
都市再生住宅(地域リノベーション住宅)	-	1	1	-
街なみ環境整備事業	4	1	5	-
優良建築物等整備事業	4	2	6	4

主な事業箇所

- ・都市再生住宅（地域リノベーション住宅）
札幌市北21条団地（新規着手）
- ・街なみ環境整備事業
松前町 ほんちょうちゅうおうぶ 本町中央部地域（新規着手）
江差町 なかうたうばがみれき 中歌姥神歴まち地域〔歴史を生かした街なみ景観整備〕（継続）
- ・優良建築物等整備事業
札幌市 とよひらばしみなみ 豊平橋南2 - - B地区（新規着手） 札幌市 なんごう 南郷16南地区（完成予定）
旭川市 みやした 宮下4地区〔プロムナード通路併設〕（完成予定）

(6) まちづくり総合支援事業（補助）

地域の考える中心市街地の個性ある活性化や都市の再生を目指したまちづくり総合支援事業を推進する。

実施箇所数

（単位：地区）

種 別	継 続	新 規	計	完成（予定）
まち総事業	18	2	20	-
まち総調査	1	1	2	1

主な事業箇所

- ・富良野市 中心市街地地区（継続）
- ・豊浦町 本町地区（新規着手）
- ・虻田町 合同庁舎周辺地区（新規着手）

(7) 都市防災推進事業（補助）

既成市街地における防災上危険な密集市街地等において、市街地の防災性の向上等を図るための都市防災推進事業を推進する。

実施箇所数

（単位：地区）

種 別	継 続	新 規	計	完成（予定）
事業	1	-	1	-
調査	1	-	1	-

主な事業箇所

- ・札幌市 きくすいかみまち 菊水上町地区（継続）
- ・虻田町 とうやこ 洞爺湖温泉地区・虻田町本町地区

(8) 地方道路整備臨時交付金(補助)

活力ある地域づくりのため、複数一体となって行われる地方の創意・工夫を活かした個性的な交付金事業を推進する。

実施箇所数

(単位:地区)

種別	継続	新規	計	完成(予定)
街路	28	9	37	2
区画整理	3	-	3	-

主な事業箇所

- ・富良野市 東5条通(駅前広場)(新規着手)
- ・札幌市 とんでんちゅうぶ 屯田中部地区(継続)

(9) 都市再生総合整備事業(補助)

都市再生緊急整備地域の特定地区において、先行的都市基盤施設等の集中的な整備を実施するハード事業からプロジェクト推進組織等が行う事業実現に向けてのソフト事業までをパッケージにして総合的に支援し、都市再生を推進する。

実施箇所数

(単位:地区)

種別	継続	新規	計	完成(予定)
事業地区	-	1	1	-

平成15年度から、都市再生緊急整備地域が対象地区に加わった。

主な事業箇所

- ・札幌市 おおどおりえき 札幌駅・大通駅周辺地域(新規着手)

(10) 市街地再開発事業(補助)

JR琴似駅北口地区などにおいて、民間活力を活用し、歴史的建造物の活用や安全で冬期間でも快適な歩行空間の確保など、市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の再生、中心市街地の活性化を図る。

実施箇所数

(単位:地区)

事業名	継続	新規	計	完成(予定)
市街地再開発事業	9	-	9	1

主な事業箇所

- ・札幌市 ことにえき JR琴似駅北口地区[歴史的建造物等活用再開発事業、JR駅接続空中歩廊併設](継続)
- ・札幌市 北8西3西地区[地下鉄連絡通路接続](完成予定)

(11) 密集住宅市街地整備促進事業(補助)

北西地区(網走市)などにおいて、住宅の改善、公共施設等の整備及び老朽住宅の建替えなどを行い、都市機能の再生や防災性の向上、居住環境の整備等を推進する。

実施箇所数

(単位:地区)

事業名	継続	新規	計
密集住宅市街地整備促進事業	2	-	2

主な事業箇所

- ・網走市 北西地区[生活道路整備等](継続)

(6)~(11)の事業は、北海道開発予算以外のもの

平成15年度(完成)

街路事業 都市計画道路 中央通(小樽市)

(補助)

都市計画道路中央通(小樽市)は小樽市の中心市街地に位置し、JR小樽駅と重要な観光資源である小樽運河を接続する幹線道路である。

本路線の拡幅整備を沿道の区画整理事業と併せて行うことにより、沿道の街なみの再整備を行い、小樽市の中心市街地の活性化を図る。

平成15年度においては、未整備となっていた約60mの区間を供用する。

事業概要

事業期間：平成7年度から平成15年度

区間延長：約0.4km

車線：4車線

幅員：36.0m

供用予定：平成15年秋



現況写真



部分供用写真

平成15年度(完成) ^{ひがし}

東さっぽろ土地区画整理事業(札幌市)

(補助)

本地区は大規模空地による東西の地区分断、住工混在、地区内道路の未整備等の課題を抱えた地区である。これらの課題点の解消並びに総務省所管のリーディング・プロジェクト制度による札幌コンベンションセンター、産業振興センター、市民情報センターの整備を中心とした拠点形成を図るため、本土地区画整理事業により面的な基盤整備を行う。

また、公園事業により公共施設と調和のとれた地区公園の整備を行い、緑豊かな都市環境を創出する。



事業内容

所在地：札幌市白石区

施行者：札幌市

施行面積：20.7ha

事業期間：平成12年度から平成16年度



東さっぽろイメージ図

平成15年度(完成)

都市公園事業 地区公園 ^{ひがし} 東さっぽろ中央公園(札幌市)

(補助)

事業概要

東さっぽろ中央公園は、札幌市白石区に位置する東さっぽろ土地区画整理事業区域内に計画された地区公園である。区画整理事業の中心施設であるコンベンション施設と一体的な整備を行い、地域住民の日常的利用のほか、集会イベントも可能な重要なオープンスペースとして、また、災害時の避難空間として、都市防災上の役割を担っている。平成15年度は入口広場、植栽、園路等の整備を行い、全面供用を予定している。

事業内容

所在地 札幌市白石区
面積 4.0ha
事業期間 平成13年度から平成15年度



平成15年度(完成)

ふしこがわ

伏古川融雪管整備事業(札幌市)

(補助)

事業概要 下水処理水の持つ熱エネルギーや、下水道施設を有効利用した積雪対策施設の整備を促進する。伏古川融雪管は合流式下水道の改善を目的とした伏古川雨水貯留管に、冬期間においても一定の温度(約13℃)を保っている下水処理水を送水し、ダンプトラックから直接投入された雪を溶かして処理するものである。

伏古川融雪管としては平成15年度供用開始予定。

所在地：札幌市東区東苗穂2条2丁目

融雪管：4,200 L=2,210m, 3,000 L=690m
(雨水貯留管整備事業 雨水貯留量 32,000m³)

投雪口：2カ所(ダンプトラックによる直接投入)

監視施設等：監視カメラ, モニター, 計数装置

熱源：伏古川処理場下水処理水

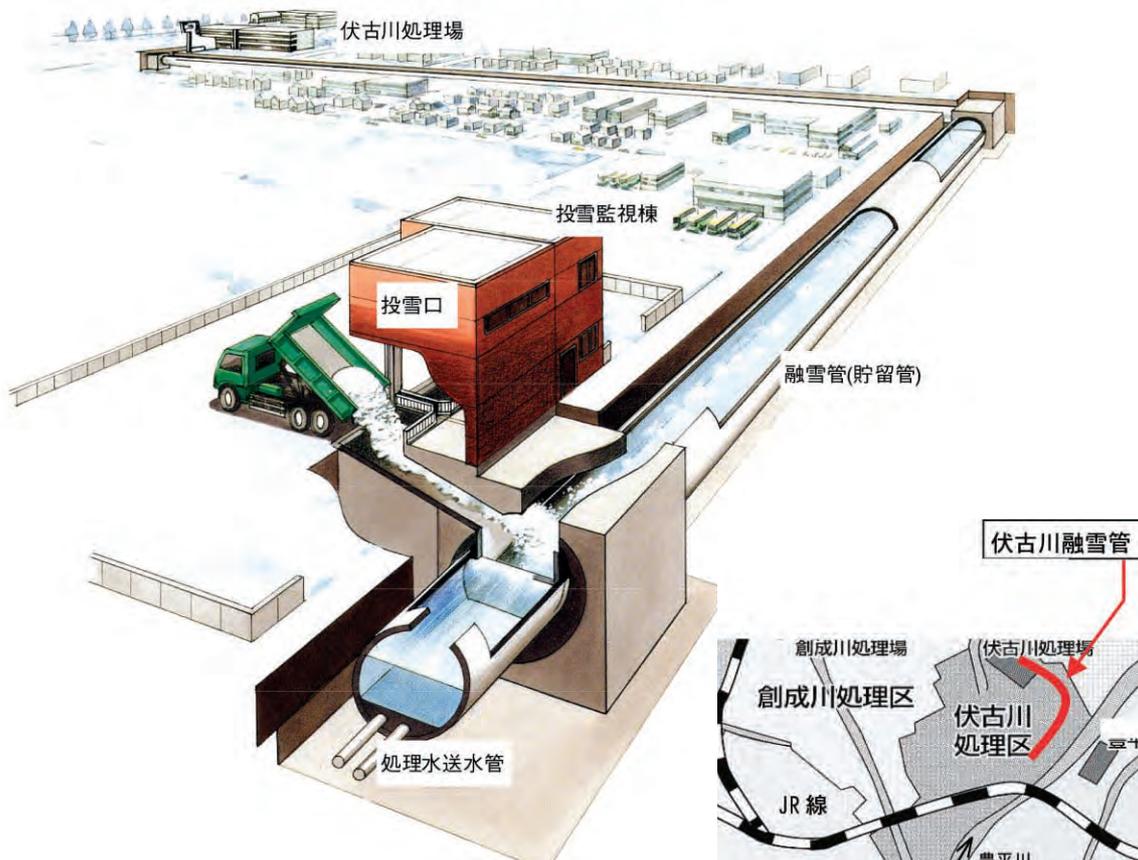
送水量：32,400m³/日(0.45m³/s)

計画融雪量：4,000m³/日(10トダンプトラック約290台)

事業期間：平成12年度～平成15年度(貯留管：平成11年度～平成14年度)

完成予想図

伏古川融雪管(貯留管) 完成予想図



平成15年度(完成)

なんごう
優良建築物等整備事業 札幌市 南郷16南地区(札幌市) (補助)

事業概要 周辺地域の宅地化により問題が生じていた工場の移転跡地について、地域に整合した土地利用の転換を図り、北海道の気候風土に適した北方型集合住宅として、質の高い住宅供給と共に快適な住環境の形成を進める。

所在地：札幌市白石区南郷通16丁目南19

施行者：北海道住宅供給公社

施行地区面積：17,600m²

延べ床面積：40,943m²

構造規模：鉄筋コンクリート造 地上14階 地下1階建

主要用途：分譲住宅、駐車場

総事業費：約70億円

事業期間：平成11年度～15年度(8月完成予定)



平成15年度(継続)

おしまんべちょうおおはま

公営住宅整備事業 長万部町 大浜団地(長万部町)

(補助)

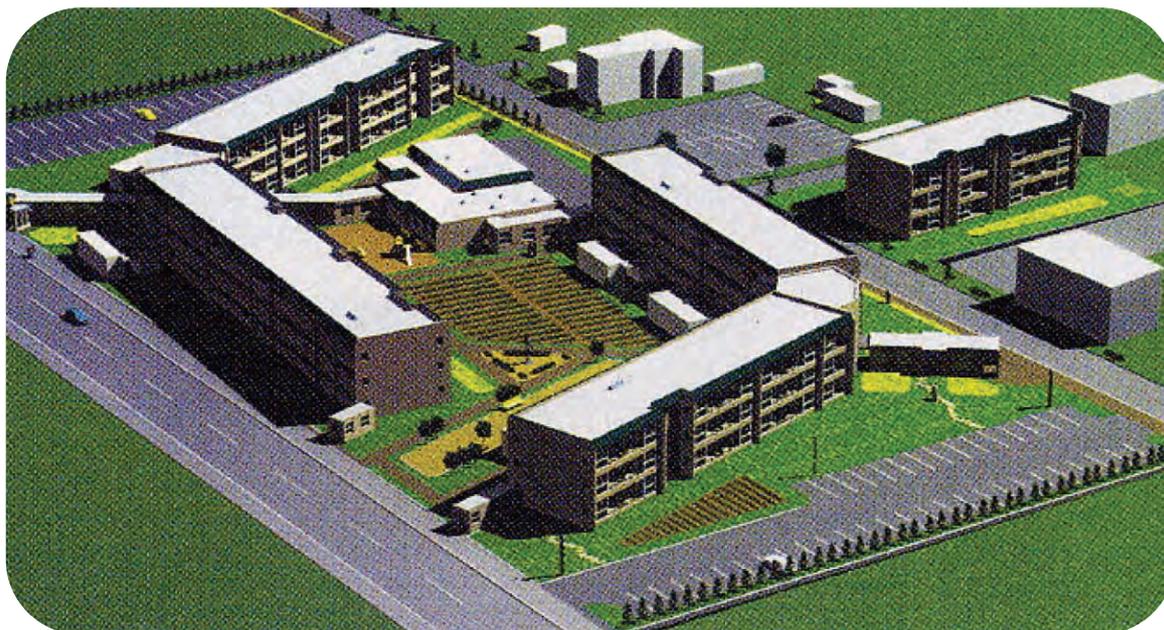
事業概要 一般の「公営住宅」及び中堅所得者層に対して優良な住宅を供給する「特定公共賃貸住宅」と、生活援助員(ライフサポートアドバイザー=L S A)が常駐するなどの「シルバーハウジングプロジェクト事業」との間に、福祉やコミュニティー施設などの生活空間を共用空間とし、居住支援システムも含めて一体的な居住環境を創出するコレクティブハウジングの整備を進める。

所在地：山越郡長万部町字大浜66

事業主体：長万部町

整備戸数：全体戸数 99戸
うち公営住宅 93戸
うち特定公共賃貸住宅 6戸
うちシルバーハウジング戸数 42戸

事業期間：平成12年度～16年度



団地内には、高齢者、子供等の世代間の交流を促進するための広場などの共用空間・施設を整備する。四季を通じて高齢者や子供などが団地内外の施設利用や相互訪問が容易となるよう、住棟通路等による歩行の有効なネットワーク化を図る。

緊急通報システムやL S Aの常駐など、高齢者の不安を解消するとともに、快適で安心して暮らせる住戸を整備する

平成15年度 農業農村整備事業の概要

1. 農業農村整備事業予算総括表

(単位：百万円)

事 項	直轄・補助別	事 業 費
農業農村整備事業	直 轄	9 3 , 2 0 0
	補 助	1 2 6 , 4 7 8
合 計	総 額	2 1 9 , 6 7 9

注) 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

2.平成15年度農業農村整備事業の概要

1 我が国の安心を支える食料基地としての役割の強化

(1) 安全・安心な食料の安定供給を実現する大規模経営とそれを支える担い手育成のための整備

土地利用型大規模経営の特色を生かした生産性の向上と効率的な農業経営のため、基幹的農業水利施設の整備を推進するとともに、ほ場の大区画化と担い手への農地集積を促進する農業生産基盤の整備を推進する。

(2) 農業水利施設の計画的・効率的な更新整備

既存施設の有効活用を図る観点から、予防保全対策等の新技術を取り入れた適切な維持保全による施設の長寿命化と老朽化した施設の計画的・効率的な更新整備を行う。

(3) 生産性の高い農地の保全

泥炭地等において、農産物の安定生産と品質を確保するため、地盤沈下等により機能が低下している農用地及び農業用排水施設の機能回復を図る国営総合農地防災事業を推進する。



大区画に整形された水田



土地利用型大規模経営（豆の播種作業）

2 北海道の恵まれた自然との共生による環境保全

(1) 多面的機能増進のための整備

国土の保全、優れた景観など農業農村の持つ多面的機能の発揮に資する国営農業用水再編対策事業を推進する。

(2) 農村における循環型社会の構築

農村における循環型社会の構築のため、地域資源の適正な農用地への還元等の整備を行う国営環境保全型かんがい排水事業を推進する。

(3) 自然と共生する農業基盤の整備

サロベツ湿原において、環境省と連携し湿原の保全と農業の振興を図る整備の構想を検討するサロベツ地区自然環境再生整備構想検討調査を進める。



北海道の豊かな農村風景（北竜町）

3. 主な事項（事業）

1 基幹的農業水利施設の整備、ほ場の大区画化、担い手への農地集積のための整備の促進

国営かんがい排水事業 [新 規] 1 地区
 " [継 続] 3 4 地区
 直轄明渠排水事業 [継 続] 6 地区
 国営農地再編整備事業 [継 続] 3 地区



国営かんがい排水事業 芽室地区
(H15完成予定)

2 農業水利施設の長寿命化、計画的な更新整備の促進

国営造成土地改良施設整備事業 [新 規] 1 地区
 " [継 続] 2 地区
 国営造成水利施設保全対策 [新 規]



ダム遮水壁アスファルトの損傷

3 生産性の高い農地の保全

国営総合農地防災事業 [新 規] 2 地区
 " [継 続] 7 地区
 直轄地すべり対策事業 [継 続] 1 地区



用水路側壁部のクラック・傾倒

4 多面的機能増進のための整備

国営農業用水再編対策事業 [継 続] 2 地区

国営造成土地改良施設整備事業
双葉地区 (H15新規着工地区)

5 地域資源の循環利用の促進

国営環境保全型かんがい排水事業 [継 続] 2 地区



6 湿原の保全と農業の振興を図る整備の構想を検討

サロベツ地区自然環境再生整備構想検討調査 [継 続]

4. 主な新規事業着手箇所及び完成箇所

1 直轄事業

(1) 主な新規事業着手箇所

事業名	地区名	関係市町村	主要工事
国営かんがい排水事業	びっぷ地区	旭川市、鷹栖町、 比布町、愛別町	頭首工 1カ所 用水路 26.4 km
国営造成土地改良施設整備事業	双葉地区	京極町、倶知安町 共和町	ダム 1カ所 用水路 1.1 km
国営総合農地防災事業	下浦幌(二期)地区	浦幌町、豊頃町	排水機場 2カ所 排水路 27.0 km
	湧別地区	湧別町	農地保全工 765 ha 排水路 9.6 km

(2) 主な完成予定箇所

事業名	地区名	関係市町村	主要工事
国営かんがい排水事業	フラヌイ地区	上富良野町、 中富良野町	用水路 42.9 km 排水路 5.3 km
	芽室地区	芽室町	ダム 1カ所 用水路 273.0 km 排水路 21.5 km
直轄明渠排水事業	南帯広地区	帯広市	排水路 38.2 km
	二宮地区	豊頃町	排水機場 2カ所 排水路 5.8 km
国営農地再編整備事業	報徳地区	豊頃町	農地造成 11 ha 区画整理 1,530ha 排水路 4.4 km 道路 4.3 km

2 補助事業

(1) 事業実施予定

(単位：百万円)

事業区分	事業費	実施地区数(新規)	主な事業
農業生産基盤整備	77,154	407(60)	かんがい排水、経営体育成基盤整備、 畑地総合整備、緑資源公団事業
農村整備	39,810	244(18)	農道整備、農業集落排水、 農村振興整備、中山間総合整備
農地等保全管理	9,514	57(6)	農地防災、農地保全、 土地改良施設管理
合計	126,478	708(84)	

* 事業地区数は道営事業のみ

平成15年度（新規）

国営かんがい排水事業 ぴっぷ地区

1 概要

老朽化した頭首工、用水路の改修

水需要の増加に対応した用水路規模の確保

維持管理費の軽減、農業生産性の確保による農業経営の安定化を図る

2 計画内容

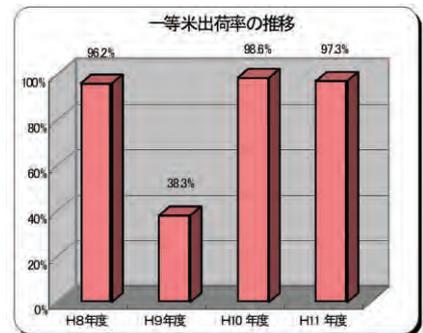
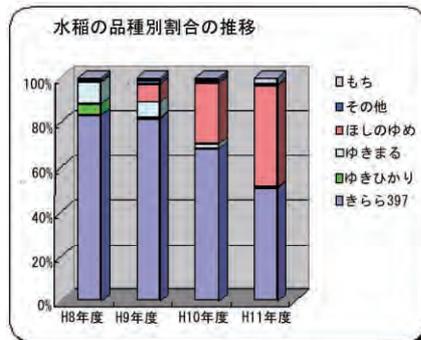
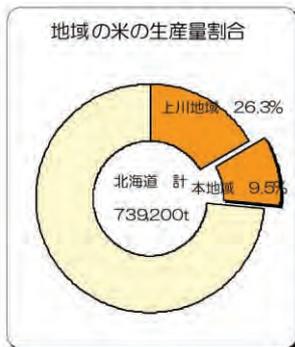
関係市町村：旭川市、鷹栖町、比布町、愛別町

受益面積：3,232ha

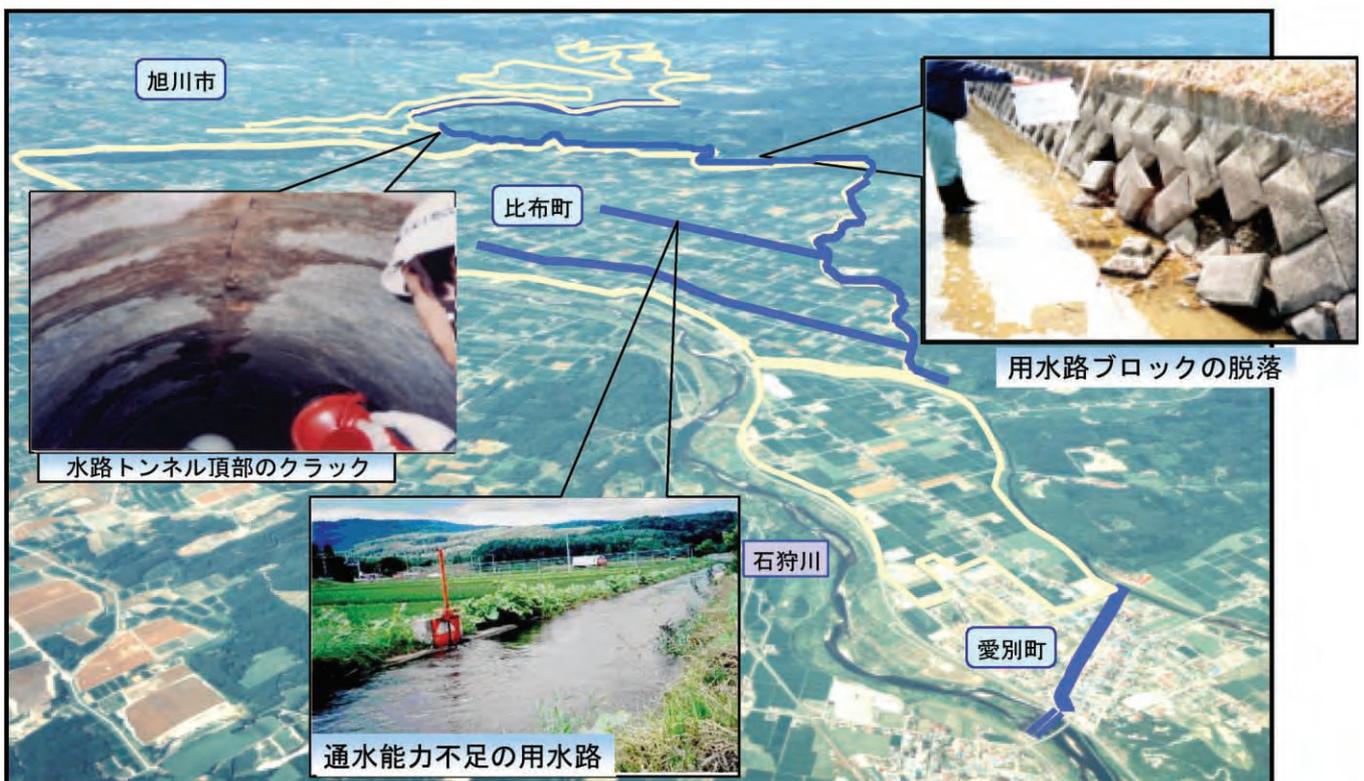
主要工事：頭首工1箇所、用水路26.4km

事業予定期間：平成15年度～平成23年度

北海道を代表する良質米の産地



H9年度は、8月9月の低温による青米の発生が要因



平成15年度(継続)

国営かんがい排水事業(国営農業用水再編対策事業) 忠別地区

ちゅうべつ

1 概要

- 良質な農作物の安定生産に必要な農業用水の確保
- 優れた景観など農業農村の持つ多面的機能増進のための整備
- 農業用水及び水利施設の有効活用を図る地域活動との連携
- 都市住民との交流の促進

2 計画内容

関係市町村：旭川市、東川町、東神楽町

受益面積：7,518ha

主要工事：頭首工1箇所、用水路14.5km、排水路1.5km

事業予定期間：昭和59年度～平成16年度

「水と緑」の環境教育活動

(1)子どもの環境教育《「田んぼの学校」活動》

- ・田植え等の農作業体験
- ・田んぼの生き物観察
- ・農業施設の役割学習
- ・かかし作り等の農村文化体験

→次代に受け継ぐ自然と調和した田園環境

(2)農業用水を利用したボランティア活動

- ・からくり人形づくり

美しい田園空間の維持・創造

- ・住民参加による農業水利施設の維持・保全
- ・既存施設の整備による地域用水の確保
- 農業用水のもつ多面的機能(生活用水、景観用水、水質保全等)の一層の発揮

自然と調和した田園景観の創造

- ・景観に配慮した営農活動(畦の花植栽による花回廊づくり)











都市にも開かれた活力ある農村づくり

- ・田園景観とマッチし、ゆとりある菜園付き優良田園住宅の整備(東川町:道外を含む16戸が入居済み)

都市住民との交流の促進

- ・農業用ため池を活用した遊水公園の整備(大雪遊水公園等)



平成15年度(継続)

国営農地再編整備事業

なかじゅりん
中樹林地区

1 概要

ほ場の大区画化による生産性向上
排水改良による小麦、野菜の安定生産
換地による農地集積

○「生産者」と「消費者」を結ぶ取り組みの推進

2 計画内容

関係市町村：南幌町

受益面積：771ha

主要工事：農地造成13ha、区画整理758ha、用水路1.1km、排水路1.5km、
幹線道路2.8km、支線道路44.9km

事業予定期間：平成12年度～平成20年度



平成15年度 水産基盤整備事業の概要

1. 水産基盤整備事業予算総括表

(単位：百万円)

事 項	直轄・補助別	事 業 費
直轄特定漁港漁場整備費	直 轄	15,625
作業船整備費	直 轄	22
水産基盤整備調査費	直 轄	18
水産基盤整備事業費	補 助	40,682
水産基盤整備調査費	補 助	38
農林漁業用揮発油税財源身替 漁港関連道整備	補 助	321
合 計	総 額	56,706
	直 轄	15,665
	補 助	41,041

注) 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

2.平成15年度水産基盤整備事業の概要

1 平成15年度 直轄特定漁港漁場整備事業実施個所数

平成15年度における直轄特定漁港漁場整備事業では、北海道の第3種18港、第4種15港の33港について平成14年度に引き続き水産基盤整備を実施する。

第3種漁港	第4種漁港
苫前、古平、美国、寿都、熊石	東浦、抜海、遠別、雄冬、余別
久遠、青苗、福島、江良、函館	大島、庶野、大津、歯舞、温根元
臼尻、砂原、追直、登別、三石	羅臼、宇登呂、能取、サロマ湖、元稲府
様似、厚岸、落石	

2 平成15年度における重点施策

北海道の水産業は、我が国の漁業生産量の約4分の1を占めるなど、水産物の供給基地として大きな役割を果たしている。

しかし、周辺水域における水産資源の低迷、国際的な漁業規制が強化される中、漁獲量の減少、水産物価格の低迷などから大変厳しい経営状況が続いている。さらに漁業就業者の減少と高齢化が依然として進行していることから、漁村地域の活力の低下が懸念されている。

このため、今後とも北海道が安全な水産物を安定的に供給し、我が国の食生活を支える水産基地としての役割を担うため、

国民の健康な生活の基礎をなす「食の安全」の推進

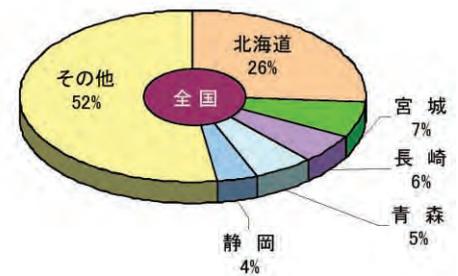
つくり育てる漁業の推進支援

高齢化社会に対応した安全で快適な就労環境の創出

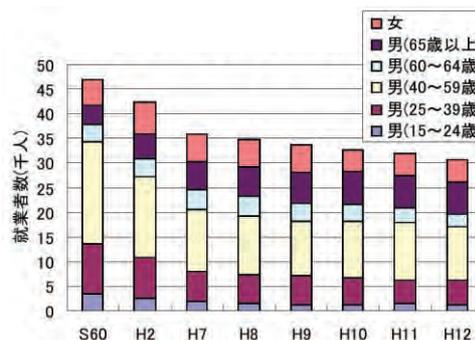
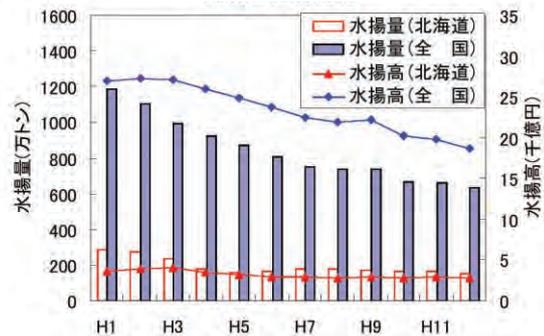
自然環境、水産資源の生息環境に配慮した施設整備

に重点を置き必要な水産基盤整備を推進する。

北海道の漁業生産量のシェア



漁業生産の推移



北海道の漁業就業者の推移

3. 主な事項（事業）

1 国民の健康な生活の基礎をなす「食の安全」の推進

- 環境・衛生管理型漁港づくり推進事業 -

水産物の生産・流通の拠点として、陸揚げから出荷までの衛生的で安全かつ効率的な水産物の供給を目指すため、直射日光や鳥糞、埃など外的要因の排除を目的とした屋根付き岸壁等の整備を羅臼漁港等で実施し、環境・衛生管理型の漁港づくりを推進する。

なお、平成15年度中に、事業内容を拡充させ地域全体としてより高度な衛生管理対策を行う「地域水産総合衛生管理対策推進事業」に移行して行く。

羅臼漁港 -3.5m岸壁イメージ図



久遠漁港 -4.0m岸壁イメージ図



2 つくり育てる漁業の推進支援

北海道は入り江が少なく、養殖に適した海岸地形になっていないこともあって、全国に比して魚類を中心とした養殖はあまり進んでいない状況にあるが、北海道の養殖業においては、サケ・ホタテ・コンブ等の魚種について相当の成果を上げてきたところである。さらに「つくり育てる漁業」の推進を支援するため、養殖、蓄養等に活用できる静穏水域の確保が可能な外郭施設や養殖、蓄養等に対応した係留施設等の整備を追直漁港等で実施する。

温根元漁港 波除堤(生け簀型ケーソン)



追直漁港 沖合人工島(多目的養殖支援基地)



3 高齢化社会に対応した安全で快適な就労環境の創出

北海道の漁港においては、特に冬場の厳しい自然環境条件（寒冷、積雪、強風等）下において、長時間の野外作業を強いられている。漁業就業者の高齢化が進行するなか、このような過酷な漁業就労環境の改善は喫緊の課題となっている。

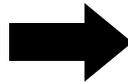
そのため、岸壁の低天端化や防風・防雪施設等の整備を古平漁港等で実施する。

古平漁港 防風・防雪施設

整備前（厳寒の中での作業環境）



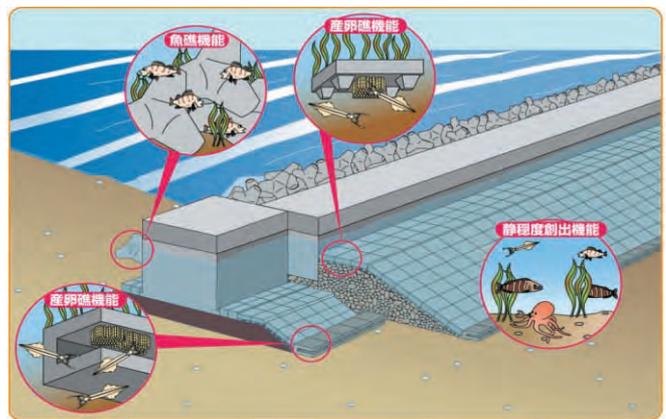
整備後（風や雪から守られた作業環境）



4 自然環境、生物の生息環境に配慮した施設整備

北海道の高い漁業生産は、豊かな水産資源を育む沿岸域のすぐれた自然環境によるところが大きく、漁港の整備にあたっては、水産資源の持続的利用を図るべく、周辺の海域環境及び良好な漁場環境に配慮する必要がある。そのため、久遠漁港等において水産生物の生息が可能な藻場機能を有する外郭施設等の整備を実施する。

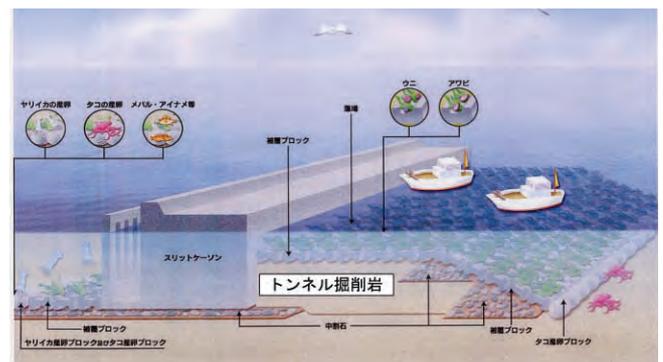
久遠漁港 島防波堤



5 資源循環型の公共事業の推進

廃棄物等の発生量の増大への対処やその循環的な利用を進めることで、環境への負荷ができる限り低減される「循環型社会」の実現を目指すため、他事業で発生する建設土砂などの防波堤背後盛土や埋立材としての利用を図る漁港整備を雄冬漁港等で実施する。

雄冬漁港 島防波堤



平成15年度(継続)

おいなおしぎょう

追直漁港直轄特定漁港漁場整備事業

(直轄)

1 概要

追直漁港の周辺ではホタテ貝等の養殖が行われているが、漁港内には養殖作業が出来る岸壁がないため、各種養殖漁業を支援する全天候型の人工島建設が進められている。人工等が完成すると、養殖場までの距離が短縮し作業効率が高まるほか、ホタテ貝の品質・衛生環境が改善される。

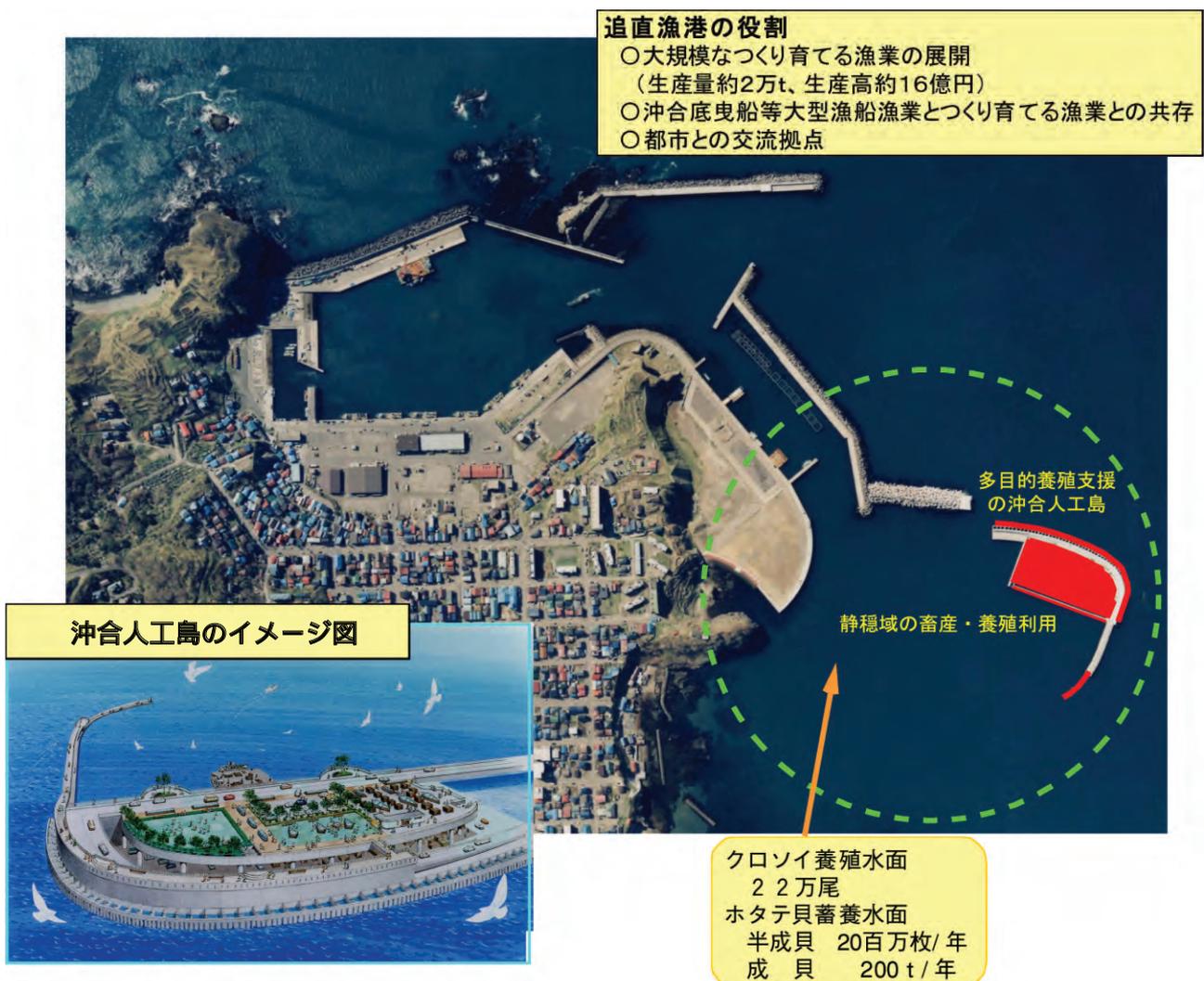
また、人工島背後の静穏な水面は、ホタテ貝の蓄養やクロソイの養殖に利用し、新鮮で安全な水産物がいつでも供給できる体制が構築される。さらに、要望の高い防波堤の釣り機能や展望施設、直販所などの整備も計画されており都市住民との交流拠点としても大いに活用されることが期待されている。

2 計画内容

漁 港 名：追直漁港

全体事業費：C = 約11,500百万円

事業予定期間：平成14年度～概ね10年間



平成15年度(継続)

らうすぎょこう
羅臼漁港直轄特定漁港漁場整備事業

(直轄)

1 概要

羅臼漁港は、地元船や外来船が多数利用し、全国でも有数な水産物供給基地としての役割を担っている。

しかし、係留施設や荷捌き・駐車場などの用地が不足しており、盛漁期には陸揚げや荷捌きに時間を要したり、用地内や道路に車が駐車するなど混雑を極めている。一方、国民の食の安全志向が高まり、「水産物の生産から食卓まで」の一貫した衛生管理が重要となっている。

係留施設及び用地の不足を解消し陸揚げ、流通の効率化を図るとともに、衛生管理の向上を図る全天候型埠頭などの整備を実施する。

2 計画内容

漁 港 名：羅臼漁港

全体事業費：C = 約18,500百万円

事業予定期間：平成14年度～概ね10年間

羅臼漁港の役割

- 根室海峡海域の避難・陸揚及び水産物流通拠点
(利用漁船約400隻、うち外来船約200隻)
- 北方領土安全操業の出漁基地
- 全国有数な水産物供給基地
 - ・サケ水揚げ平成13～14年第一位
 - ・北海道産地市場取扱実績：第4位

全天候型埠頭のイメージ図



衛生管理に対応する全天候型埠頭



岸壁・用地の不足による混雑解消が急務



平成15年度 官庁営繕事業の概要

1. 官庁営繕事業予算総括表

(単位：百万円)

事 項	直轄・補助別	事 業 費
官庁営繕費		
施設整備費		3,124
旭川地方合同庁舎	直 轄	1,500
函館税務署	直 轄	853
旭川東税務署	直 轄	768
八雲地方合同庁舎 (敷地調査)	直 轄	3
施設特別整備費	直 轄	463
合 計	直 轄	3,587

注) 1. この他に支出委任、受託工事として 2,444百万円がある。

2. 四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。

2.平成15年度営繕事業の概要

1 人間力の向上・発揮 — 教育・文化、科学技術、IT

(1) IT国家の実現に資する官庁施設整備の推進

世界最先端のIT国家の実現に資するため、申請、届出等の諸手続のオンライン化による利便性の向上や行政情報の的確な管理体制の実現による業務の効率化、迅速化など、行政のIT化を図るための電子情報システムの導入等に必要な官庁施設の整備を推進する。

2 個性と工夫に満ちた魅力ある都市と地方

(1) 地域のまちづくりに寄与する官庁施設の整備の推進

地域の特色や創意工夫を活かしつつ都市拠点の形成、良好な市街地環境の形成を図るため

官公庁施設と民間建築物等が連携したシビックコア地区における中核施設となる官庁施設
中心市街地の活性化等に資する官庁施設

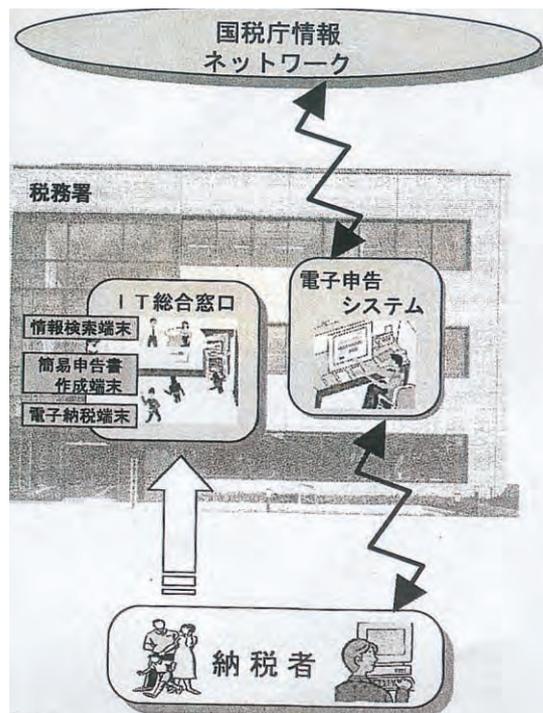
地域の歴史・文化を育む官庁施設

など地域のまちづくりに寄与する官庁施設の整備を推進する。

(2) 安全・安心の確保に資する防災拠点施設の整備の推進

安全で安心できる生活の実現に資するため、官庁施設が防災拠点としてその機能を十分発揮できるよう、総合的な耐震安全性を確保した防災拠点施設の整備を推進する。

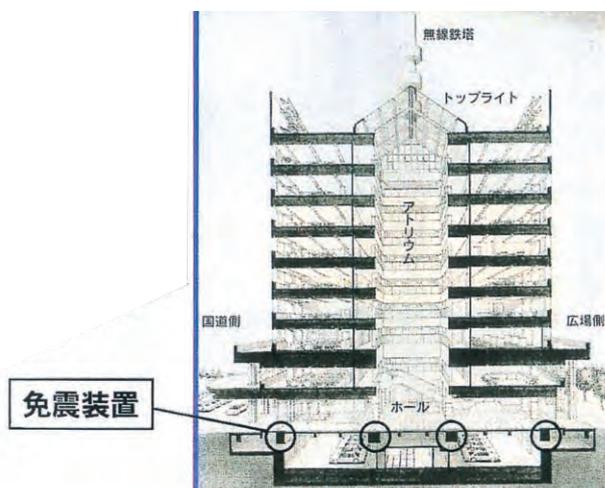
また、東南海地震等にかかる防災対策の強化が求められる中で、耐震安全性が確保されていない既存の防災拠点施設についても、計画的な耐震対策を実現する。



IT化のイメージ



釧路シビックコア地区整備イメージ



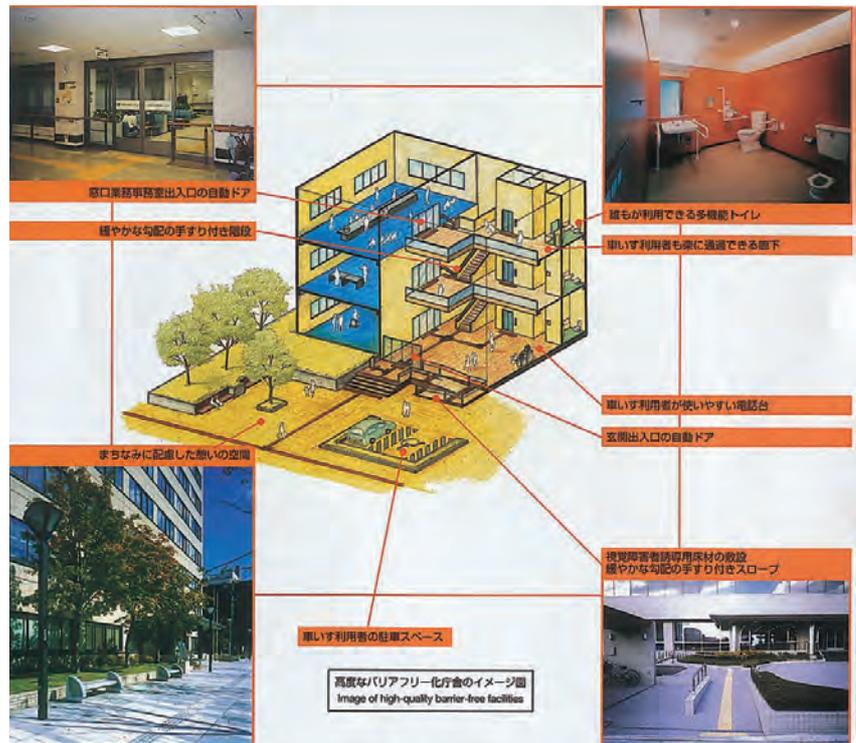
免震装置（釧路地方合同庁舎）

3 公平で安心な高齢化社会・少子化対策

(1) 官庁施設のバリアフリー化の推進

高齢者、障害者等すべての人が円滑かつ快適に施設を利用できるように、窓口業務を行う事務室の出入り口への自動ドア、多機能トイレの設置等による高度なバリアフリー化を目指した官庁施設の整備を推進する。

また、既存官庁施設のバリアフリー化を図るため、窓口業務を行う官署が入居する庁舎へのエレベーター、スロープ等の設置を推進する。



バリアフリー化のイメージ

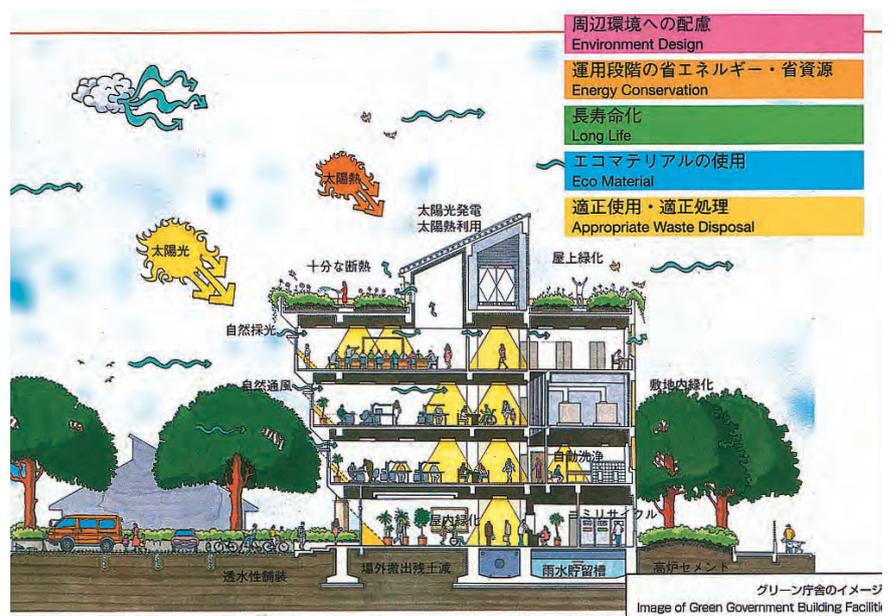
4 循環型社会の構築・地球環境問題への対応

(1) グリーン庁舎の整備等の推進

新地球温暖化対策推進大綱（平成14年3月）における住宅・建築物に係るエネルギー起源の二酸化炭素削減目標（2010年までに1990年比2%減）を踏まえ、官庁施設について二酸化炭素排出量の削減を図るため、環境負荷低減技術を活用したグリーン庁舎（環境配慮型官庁施設）の整備を推進する。

また、既存官庁施設について、グリーン診断結果に基づき、計画的なグリーン改修（環境に配慮した改修）を推進する。

なお、中央官庁庁舎等における屋上緑化の整備及び地方合同庁舎への太陽光発電設備の設置を引き続き推進するほか、中央官庁庁舎の省エネルギー対策を推進する。



グリーン庁舎のイメージ

3. 主な事項（事業）

1 人間力の向上・発揮 — 教育・文化、科学技術、IT

(1) IT国家の実現に資する官庁施設整備の推進

[継 続] 函館税務署

[継 続] 旭川東税務署



函館税務署

2 個性と工夫に満ちた魅力ある都市と地方

(1) 地域のまちづくりに寄与する官庁施設の整備の推進

[継 続] 旭川地方合同庁舎

(2) 安全・安心の確保に資する防災拠点施設の整備の推進

[継 続] 旭川地方合同庁舎



旭川地方合同庁舎

3 公平で安心な高齢化社会・少子化対策

(1) 官庁施設のバリアフリー化の推進

[継 続] 函館税務署

[継 続] 旭川東税務署

4 循環型社会の構築・地球環境問題への対応

(1) グリーン庁舎の整備等の推進

[継 続] 旭川地方合同庁舎

[継 続] 函館税務署

[継 続] 旭川東税務署



旭川東税務署

4. 主な新規事業及び完成庁舎

1 官庁営繕事業

(1) 主な新規事業

工事名	住所	規模	延べ床面積
八雲地方合同庁舎敷地調査	八雲町	RC - 3	2,800m ²
札幌法務局静内出張所敷地調査	静内町	RC - 3	1,800m ²
江差地方合同庁舎外断熱改修	江差町	RC - 3	2,700m ²

(2) 主な完成予定庁舎

工事名	住所	規模	延べ床面積
函館税務署	函館市中島町	RC - 4	4,045m ²
旭川東税務署	旭川市東6条1丁目	RC - 3	2,478m ²
帯広公共職業安定所	帯広市西5条南5丁目	RC - 3	1,846m ²
道警機動隊庁舎	札幌市南区真駒内	RC - 5	7,268m ²

1 概要

「シビックコア地区整備制度」は地域の特色や創意工夫を活かしたまちづくりを支援する制度です。官公庁施設と民間施設が連携して、魅力と賑わいある都市の拠点地区の形成を促進しようとするものであり、旭川シビックコア地区は旭川市の駅周辺地区整備計画(北彩都あさひかわ)の先行整備地区と位置づけられ、その中核施設として旭川地方合同庁舎を平成16年7月完成を目指して現在工事中です。

2 計画内容

工 事 名：旭川地方合同庁舎
 構 造・規 模：SRC-6-1 延べ床面積 13,196m²
 全 体 工 事 費：全体工事費:約50億円
 工 事 期 間：平成13年度～平成16年度

基本方針

- 北の自然環境と生活文化が融合した地区の創造
- 市民の交流の場の創出
- 訪れる人や働く人々がくつろぎ憩える都市空間の創出

【主要施設】

- ・旭川地方合同庁舎 ・障害者福祉センター(仮称)
- ・社会教育施設 ・共同利用駐車場

【関連都市整備事業】

- ・旭川駅周辺土地区画整理事業
- ・JR旭川駅周辺鉄道高架事業
- ・まちづくり総合支援事業
- ・街路整備事業、公園整備事業、河川整備事業

●河川空間と市街地環境の融合

- 緑豊かな自然的空間に公共・公益施設を配置
- 各施設低層階への市民開放空間の導入
- 連続性のある調和のとれた街並みの形成

都市機能と自然空間が融合するまちづくり「旭川シビックコア地区」
Asahikawa CIVIC-CORE PROGRAM